



ドイツの大学で学ぶ
外国人学生のための実用ガイド
第7版



DAAD

Deutscher Akademischer Austauschdienst
ドイツ学術交流会

注目テーマ

- 9** **スケジュール**
いつ、何をすればよいか
- 16** **大学の課程**
留学希望の課程を探す
- 22** **ドイツ語力**
必要なドイツ語レベル
- 15** **英語で学べる課程**
英語で学べる課程の探し方
- 30** **出願**
大学への出願
- 28** **奨学金**
奨学金を探す
- 25** **生活費**
家賃、食費などにかかるお金
- 68** **アルバイト**
留学中のアルバイト
- 26** **健康保険**
ドイツでの健康保険
- 36** **ビザ**
ビザについて
- 40** **住むところ**
住むところの探し方
- 42** **チェックリスト**
いつまでに何をしておけばよいか

ドイツの大学で学ぶ

外国人学生のための実用ガイド

第7版

DAAD

Deutscher Akademischer Austauschdienst
ドイツ学術交流会

目次

発行者: DAAD (ドイツ学術交流会)

Deutscher Akademischer Austauschdienst

German Academic Exchange Service

Kennedyallee 50, 53175 Bonn

www.daad.de

担当部署: Referat Informationen zum Studium in Deutschland

プロジェクトコーディネータ: Esther Kirk, Kerstin Nolden, Angela Faust, Svenja Wesemann

独語版テキスト: Dr. Dagmar Giersberg (ボン)

日本語版担当部署: ドイツ学術交流会東京事務所

デザイン・組版 (英独語版): DITHO Design GmbH (ケルン)

日本語版組版・印刷: プリンテックス株式会社 (東京)

印刷部数: 2,000部 2020年11月

© DAAD

写真クレジット: Thomas Ebert (表紙)、Norbert Hüttermann (7, 67ページ)、
Christian Lord Otto (34ページ)、Peter Himself/David Ausserhofer (39ページ)、
Ikhlas Abbis (46, 50, 74ページ)、Doerthe Hagenguth (59ページ)
その他の写真は個人蔵

このパンフレットはドイツ外務省からの拠出金により発行されています。

ドイツの大学に留学したい? — 応援します!

6

1. 準備

8

1.1 課程と大学の選択

10

大学の種類 | 国立大学と私立大学 | 大学の課程と学位 |
インターナショナル・ディグリー・プログラム | 情報収集と留学相談 |
地図: ドイツの大学

1.2 大学入学に必要な前提条件

19

大学入学資格 | 大学入学資格試験 |
大学入学の要件 | ドイツ語力

1.3 留学費用の準備

24

費用 | 滞在費用の証明 | 奨学金

1.4 大学の課程への出願

30

ドイツ全体で入学定員制限のある専攻学科 | その他すべての専攻学科 |
出願費用 | 出願書類 | 重要な日程



Federal Foreign Office

1.5	入国と滞在に関する規則 ビザが必要か必要でないか ビザの種類 ビザ申請	36	3.	留学を成功させるために	60
1.6	住居探しの準備 学生寮 民間のアパート ドイツ到着直後の宿泊先	40	3.1	人とつながる	61
1.7	チェックリスト	42	3.2	ドイツ語を学ぶ	64
2.	ドイツ到着直後にすべきこと	44	3.3	職業経験を積む アルバイト 働くことに関する規則 インターン 報酬	68
2.1	相談窓口 留学生課 学生互助会 サポートプログラム 学生が運営する機関 留学生支援グループ 学部学生会	45	3.4	大学卒業後の就職の可能性 関係する法的条件 就職活動 ドイツ語力	72
2.2	住むところを探す 住まい探しのヒント 住宅情報	51		頑張ってください!	76
2.3	学籍登録	52		付録	77
2.4	役所での最初の手続き 住民登録局 滞在許可	53		統計:ドイツの大学で学ぶ外国人学生	78
2.5	大学での勉強を計画する 授業 大学における学習の構成 試験 時間割	55		DAADについて:目標、任務、プログラム	80
				アドレスとリンク集	82
				索引	84

ドイツの大学に留学したい？ 応援します！

ドイツの大学への留学に興味を示していただき、
ありがとうございます。

外国の大学で勉強することは、いつでも刺激的な挑戦です。自身の生活環境が変わるだけでなく、新しい世界に触れることで新たな視点がもたらされます。ヨーロッパの中心に位置するドイツへの留学は、とても大きな経験となることでしょう。

ドイツには学習や研究のための様々な可能性があります。ドイツの大学は世界中で非常に高い評価を得ており、国際的にも注目される重要なイノベーションや進歩を生み出しています。ドイツには、充実した大学生活を送るための素晴らしい環境が整っているのです。

そして皆さんにはたくさんの仲間がいます。世界中から集まった約36万人の若者がドイツの大学で学び、また研究しており、その数はドイツの大学の全学生数の12.8%を占めています。留学生の比率がこれほど高い国はほかにはほとんどありません。

また留学準備においても皆さんは一人ではありません。このパンフレットは留学準備にきっと役立つでしょう。さらに質問がある場合は、世界各国に設けられているDAADの事務所に相談することもできます。（東京事務所：www.daad.jp）
また、www.facebook.com/Study.in.Germanyに質問を送ることもできます。

皆さんが素晴らしい、実りある留学生活を送ることを願っています。ドイツで素敵な、充実した時間を過ごしてください！

DAADとは？

ドイツ学術交流会 (DAAD) はドイツの大学と学生団体が共同で運営する機関です。主に学生及び研究者の交流を通じて世界で学術協力を促進することを任務としています。

ドイツの大学及び生活に関する情報は、DAADのパンフレットおよびWebサイト www.daad.de 及び www.daad.jp、または www.study-in-germany.de でご覧いただけます。

本書は2019年7月にDAADよりドイツ語と英語で発行された *Studieren in Deutschland / Studying in Germany* を日本向けに訳したものです。実際に留学の計画をする際には必ずご自身で大学及び関係機関から、ご自身に関係する最新の情報を入手してください。



1. 準備

この章では、ドイツ留学を成功に導く計画方法をご紹介します。出発前に解決しておくべきこと、済ませておくべきことにはどのようなものがあるのでしょうか。

外国の大学で学ぶということは、新しい未知の世界への出発点でもあります。そのため多くの注意事項や、計画・準備すべき点があります。右のページのスケジュール表には、ドイツ留学準備の大まかな流れがまとめられています。

スケジュール表に書かれた各項目について、このあとの章で具体的に説明していきます。

そしてこの章の終わりにある詳細なチェックリストを見ながら、出発前の重要な手順が完了しているか、必要な書類がそろっているかを確認してください。(42～43ページ参照)



スケジュール

▶ 出発の約15ヶ月前

- ドイツの大学への留学の様々な選択肢について、インターネットやDAADの事務所で情報を集めます(10～18ページ参照)。
- 大学入学資格や語学レベルその他、ドイツの大学への留学に必要な条件を満たしているかどうか確認します(19～23ページ参照)。
- 留学費用の準備方法、および奨学金制度の利用が可能かどうか確認します(24～29ページ参照)。

▶ 出発の約9ヶ月前

- Bachelor(学士)やMaster(修士)などの課程と大学を選択します(10～18ページ参照)。
- 希望する大学の留学生課に直接問い合わせます(16ページ参照)。

▶ 授業開始の約4～5ヶ月前

- 出願(30～35ページ参照)。出願方法と期限に注意!
- 学生寮が必要な場合、可能であれば申し込みを行います。(40ページ参照)

▶ 大学の入学許可を得たら

- ビザが必要な場合は、直ちに申請を行います。(36～38ページ参照)
- ドイツで認められている健康保険に加入している場合は、加入証明書を入手してください。(26ページ参照)

▶ 出発の約1ヶ月前

- 必要な書類がすべてそろっているかどうか確認します。(43ページ参照)
- ドイツ到着直後にどこに宿泊するか計画します。(41ページ参照)

▶ さあ出発です!

1.1 課程と大学の選択

ここではドイツの大学の概要についてご説明します。自分に合った課程（例えば経済学のBachelor課程など）を探す手助けとなるでしょう。

ドイツには「選択の自由には苦勞がつきもの」ということわざがありますが、ドイツの大学の選択肢の多さを考えると、まさにその通りだと思われるでしょう。

ドイツには国から認可された約430の大学があり、ドイツ全土の約170か所に分布しています。所在地については18ページの地図を参照してください。すべての大学を合わせると約2万の課程が提供されていますので、その中からどれかを選択することになります。選択が苦勞とならないよう、選択に役立ついくつかの情報をまとめました。

ドイツの大学の種類

ドイツの大学は大きく3種類に分けられます。どの種類の大学に留学したいかを決めると選択しやすくなります。

- 総合大学 (Universität / university)
- 専門大学 (Fachhochschule / university of applied sciences)
- 芸術大学・映像大学・音楽大学 (Kunsthochschule / college of art, Filmhochschule / college of film, Musikhochschule / college of music)

総合大学は、研究に重点を置いた勉強をしたい方に向いています。総合大学では様々な専攻分野で学ぶことができます。工科大学、医科大学、教育大学など、特定の専門

ドイツの学年について

ドイツの大学は、冬学期と夏学期の2学期制です。学期中には、ゼミナールと講義が行われる「講義期間」と、講義のない期間である「学期休み」があります。学期が始まる時期は大学の種類によって異なりますので、必ず、留学希望の大学について確認してください。

多くの場合、以下のようになっています。

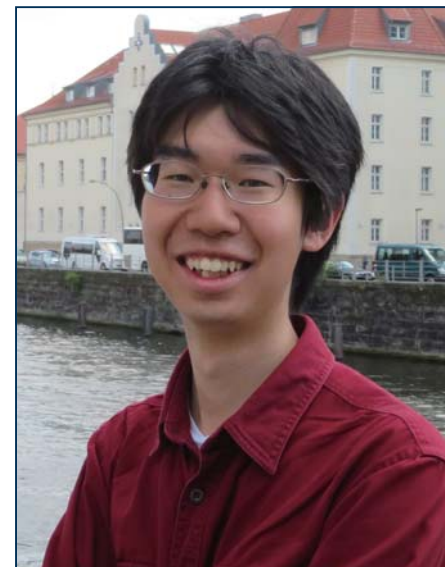
総合大学

冬学期：10月から3月
夏学期：4月から9月

専門大学

冬学期：9月から2月
夏学期：3月から8月

注意：多くの課程において、入学は冬学期からとなっています。



僕にとって1年のドイツ留学は、人生の新たな可能性を見せてくれた経験でした。この世界には様々な人々がいる、そしてその一人一人にはいろんな生き方がある。ドイツという国の持つ寛容性は、僕にそんなことを示してくれた気がします。

ドイツには、日本で感じることでできなかった「時の流れ」があります。その中で人は、自身の興味に従い多くのことを試しながら、自分の将来についてじっくり考えることができます。人との出会いも大切です。ドイツ人をはじめ、ヨーロッパ各地から集まった多様な価値観を持つ仲間と語り合うことは、自分をまた大きく成長させるでしょう。

大野 亘児 神奈川県出身。ライプツィヒ大学で化学およびドイツ語教育を学ぶ。

分野に特化している総合大学もあります。ドイツで博士号を取得したい場合は、総合大学を選びます。

専門大学は、実務志向の勉強をしたい方に向いています。専門大学では、実際の職場で必要とされる具体的な知見とスキルを科学的に学びます。専門大学での勉強には、インターシップ(70～71ページ参照)および実習学期が含まれます。

芸術大学、映像大学、音楽大学は、芸術系の勉強をしたい方に向いています。これらの大学では、美術、演劇、ダンス、工業デザイン、ファッションデザイン、グラフィック、器楽、声楽などを専攻することができます。近代メディア系の大学では、監督、撮影監督、脚本家、その他の映画やテレビの専門家を養成しています。これらの専攻で学ぶためには適性テストで特別な芸術的才能を示さなければならない、入学には特別な条件が設けられています。

学生数

2018/2019年度の冬学期には、国から認可された約430の大学に合計290万人以上の学生が在籍

- 128の総合大学に1,778,737人
- 218の専門大学に1,003,402人
- 53の芸術大学、映像大学、音楽大学に36,834人

出典：ドイツ連邦統計局

国立大学と私立大学の違い

ドイツのほとんどの大学は、国から資金を提供されています。少数ですがプロテスタント教会またはカトリック教会によって運営されている大学もあります。国により学位が認可されている私立大学も120校あり、そのほとんどは専門大学です。

ドイツの学生の大半は国立大学に在籍しています。私立大学に通っている学生は全体の約7.4パーセントです。私立大学では授業料が高額になる場合があるのに対し、国立大学は通常はそうではないことがその理由です。(27ページ参照)。教育の質はどちらのタイプの大学でも同等に優れています。

大学の課程にはどのようなものがありますか？

それぞれの課程は修了すると授与される学位が決まっていますので、ある課程を選択すると、専攻だけでなく取得する学位も選択することになります(例えば経済学のBachelor課程を修了するとBachelor(学士)を取得できます)。ドイツの大学で何をどのレベル(学士、修士、博士など)で学びたいかに合わせて課程を選ぶことができます。

- 初めての大学教育をドイツの大学で開始する。(日本でいうと「学部課程」に相当します。)
- 自国の大学での勉学の一環として、ドイツの大学で数ゼメスターだけ学ぶ。
- 大学卒業後、ドイツでさらに上の学位取得を目指す。
- ドイツで博士号取得を目指す。

ドイツの学位について

ドイツの大学では以下の学位を取得できます。

Bachelor(学士)(文学士、理学士、工学士など):労働市場で国際的に認められる最初の学位です。Bachelor課程は、6～8学期でその学科の基礎を学びます。学士号を取得すると、就職して働くことも、または、さらに上の学位である修士の取得を目指すこともできます。

Master(修士)(文学修士、理学修士、工学修士など):ドイツの大学で取得できる2番目の学位です。前提条件は、学士課程(または同等の課程)を修了していることです。Master課程は2～4学期であり、そこでさらに深くまた幅を広げて勉強することができます。Master課程を無事に修了し修士号を取得すると、就職することも、さらに上の学位である博士号の取得を目指すこともできます。

Staatsexamen/state examination(国家試験):「国家試験」という修了資格は学位取得ではなく、国家資格の取得です。そのため試験規定は大学ではなく、各連邦州によって定められています。さらに、試験は州の監督下で行われます。ドイツで医師、弁護士、教師、または薬剤師として働きたい人は、このような国家試験という資格が必要です。一次国家試験は、法学、医学、薬学、および教員養成コースの専攻課程を修了後に受けることができます。その後、それぞれの職業に応じた実践的な研修段階において二次国家試験に向けて準備を整えたり、博士号取得を目指したり、またはその両方をすることができます。しかし、ドイツの国家試験という修了資格があっても就職が保証されるわけではありません。また、ドイツの国家試験という修了資格がご自身の母国で認められるかどうか事前に確認しておく必要があります。

Promotion/doctoral degree(博士号取得):博士号取得のための勉強は博士号が授与されるまで続きます。その間に研究論文(博士論文)を執筆します。博士号取得までの期間はそれぞれの研究内容によって異なり、通常は約2～5年かかります(14ページ参照)。

ここ数十年の間、にドイツの大学の課程はボローニャ・プロセスの一環として改革が行われました。それにより、今ではほぼすべての大学において、従来の課程であった**ディプロム(Diplom)**課程及び**マギスター(Magister Artium)**課程は、学士課程とそれに接続する修士課程へと移行しました。

しかし今でも従来のこの2つの学位が残っている場合もあります。**ディプロム(Diplom)**は自然科学、工学、経済学、社会科学、芸術の課程の学位、**マギスター(M.A.)**は人文科学の課程の学位であり、これらは修士に相当します。

知っておくべき重要なポイント:

ドイツの教育システムでは、国内の統一規定はありません。16の連邦州(18ページ参照)にはそれぞれ独自の大学法及び指針があります。ドイツの大学は高い独立性を有しているため、全ての大学で統一されることがないのです。そのため、どのような規定があるのかについては必ず留学希望の大学に確認する必要があります。

博士号取得

ドイツの大学で博士号を取得するには魅力的な選択肢がたくさん用意されています。

博士号を取得するには基本的に次の2つの方法があります。

1. 指導教授の下で博士論文を自由かつ自律的に執筆して博士号取得を目指す。
2. 博士課程プログラムにおいてカリキュラムにしたがって博士号取得を目指す。

1. の方法: まず、研究活動の指導を依頼する大学教授(指導教官)を探します。大学教授は全ての博士号取得志願者を受け入れる義務はないため、研究内容のアイデアは説得力のあるものでなくてはなりません。自身の研究内容に合う大学と教授を早い時期に見つけましょう。情報を探す際には、ドイツ大学学長会議のサイト www.higher-education-compass.de や情報ポータルサイト GERiT (German Research Institutions) www.gerit.org が役立ちます。

2. の方法: ドイツで博士号を取得できる様々なプログラムが用意されています。主なものを以下に挙げます。

- Research training groups
- Graduate schools
- International doctoral programmes

Graduiertenkolleg (research training group) は、若手研究者の育成支援のために総合大学に設置されています。ここでは、広範囲にわたる研究プログラムに博士論文が組み込まれています。このプログラムは複数の研究者によりサポートされており、

多くの場合、学際的な研究プログラムです。

ドイツ研究振興協会 (DFG) の Web サイト www.dfg.de/gk には、現在助成対象となっている Graduiertenkolleg (research training group) のリストが掲載されています。いくつかの州には、主に英語で研究できる Graduate School があります。Graduiertenkolleg (research training group) とは異なり、それぞれの総合大学に常設されています。そこでは、優秀な若手研究員は、個別に手厚いサポートを受けることができます。

International doctoral programme (15 ページ参照) は、主に英語で行われる博士課程プログラムで、以下のサイトで検索できます。

www.daad.de/international-programmes

注意: このパンフレットの情報(入学要件と課程の構成等)は、主に学士課程と修士課程についての内容となります。博士号取得については以下の Web サイトで詳しい情報を確認してください。

www.research-in-germany.de/phd.

特に外国人学生に向けて作られたプラットフォーム “PhDGermany” (www.phdgermany.de) では、博士号取得プログラムのリストが閲覧できます。自分に合った博士課程を見つけたら、DAAD の Web サイトのプログラム説明の中にあるリンクから直接出願情報にアクセスすることができます。



インターナショナル・ディグリー・プログラム

近年、ドイツの大学では1,530以上もの国際志向の学士課程、修士課程、博士課程を設けています。これら “International Bachelor, Master and Doctoral Programmes in Germany” は学問的水準の高い、優れた構成の課程です。また、手厚いサポートと学業相談も提供されています。授業はほとんどが英語で開講されますが、授業を履修しながら受講できるドイツ語コースも用意されています。

詳しい情報はこちら

www.daad.de/international-programmes

オンライン授業

ドイツに居住せずにドイツの大学の授業を受けることも可能です。国立大学も私立大学も、多数の専攻分野において無料または有料のオンラインもしくは通信教育を提供しています。このような学士課程と修士課程は www.higher-education-compass.de (メニュータブ “distance learning” を選択) や、インターナショナル・ディグリー・プログラムであれば www.daad.de/international-programmes (メニュータブ “study online” を選択) でも検索することができます。

ダブルディグリープログラムは、国際的に又は二国間で設置される課程です。ドイツの大学と海外の1つ又は複数の提携大学とが共同で提供する過程であり、学生は数ゼメスターを提携大学で勉強します。提携大学で取得した単位等は、ドイツの大学の課程の単位としてすべて算入されます。中には、参加した学生が修業年限の約半分を提携大学で勉強して両方の大学の学位を取得できるものもあります。

博士号取得を目指す学生にも、国際志向の高いプログラムが用意されています。例えば、連邦政府と州による大学支援策エクセレンス・イニシアチブに選ばれたグラデュエートスクールやマックス・プランク国際研究大学院 (IMPRS) では、ドイツおよび外国の特に優秀な修士号取得者に、ドイツ全土でひときわ優れた研究環境で博士号を取得する機会を提供します。また、専門的な研究のサポートも手厚く行われます。ほとんどの授業が英語で行われ、特別な奨学金が設けられていることもあります。

更に詳しい情報はこちら

www.mpg.de/de/imprs



自分に合った課程を見つけるには

このようにドイツの大学には多様な課程がありますので、この中から自分に合っているのはどの大学のどの課程であるかを詳しく調べる必要があります。

そのための情報収集にはwww.study-in-germany.deの検索エンジンが便利です。ここには、国により認可された大学の全ての課程の情報が掲載されています。また、入学条件、各種手続きの日程、連絡先など重要な情報も記載されています。これらの情報はドイツ大学学長会議(HRK)のデータベースが基になっています。

大学ランキング情報www.universityranking.deも大学選びのための情報収集に役立ちます。ここには37の専攻分野についてドイツの380の大学の評価が掲載されています。

インターナショナル・ディグリー・プログラムについての情報は、www.daad.de/international-programmesで検索できます。

上記以外にも、DAADのWebサイトやwww.studienwahl.deには、大学選びに役立つ様々な情報が掲載されています。

ドイツ留学の相談

ドイツ留学の計画に関する相談窓口は各国に設けられています。以下のようなところで相談できます。

- DAADインフォメーションセンター(IC)、DAADの在外事務所(82ページ参照)
- DAADを通じて外国の大学に派遣されている大学教員
- ゲーテインスティトゥート又はゲーテセンター
- ドイツ大使館、ドイツ領事館

ドイツでの最も重要な窓口は、**International Office**やAkademisches Auslandsamtと呼ばれる各大学の留学生課です(www.daad.de/ioで連絡先を検索できます)。

自己診断テスト

どの専攻を選んだらよいのか迷っている場合は、無料の学習関心テスト(SIT)が参考になるかもしれません。所要時間は約15分です(www.hochschulkompass.de/studium-interessentest.html)(ドイツ語のみ)。上記以外の自己診断テストは、www.studis-online.de/StudInfo/selbsttests.phpで見つけることができます。

もし工学系の学科に興味がある場合は、www.self-assessment.tu9.deにある“Self Assessment international”で工学分野の自己診断テストを受けることができます。

ドイツの大学での勉強についていけるかどうか自分の学力をテストしたい場合はTestAS(21ページ参照)が便利です。



ブレーメン大学では、留学生も一緒になって留学生のためのイベントを計画しています。留学生課では留学生からのアイデアやイニシアティブを歓迎します。留学生が、留学生のための様々なプログラムを計画・実行する場合には喜んでサポートします。例えば学期始まりの際のオリエンテーションや、論文のためのワークショップ、タンデム学習プログラムなどが挙げられます。また、定期的な課外活動で各国の留学生とつながることができます。キャンパスでさまざまな文化のネットワークを作るための活動に参加してください。皆さんが主役です!

Dr. アネッテ・ラング ブレーメン大学留学生課課長

留学生課には、個々の専攻分野や課程の履修内容、大学入学必要条件や大学入学の準備、語学テスト、インターンシップ、学費の準備、具体的な学習計画について相談することができます。

ボンにあるDAADの事務所でもドイツ留学についての相談を受け付けています(連絡先

は82ページ参照)。また、www.facebook.com/Study.in.Germanyでも質問を受け付けています。

一人で悩まずどんどん相談してください。

ドイツの大学



1.2 大学入学に必要な前提条件

ドイツの大学で勉強するために満たすべき条件をご説明します。特に、学校の卒業証明書、専攻に関する知識、語学力について条件が設けられています。

ドイツの大学で勉強するには基本資格として**higher education entrance qualification**や**Hochschulzugangsberechtigung**と呼ばれる大学入学資格が求められます。これは、皆さんの学校の卒業証明書が、ドイツの大学で勉強する条件を満たしているかどうかを問うものです。(ドイツの高校を卒業した場合、ドイツの大学で学ぶにはAbiturと呼ばれる大学入学資格試験に合格して一般大学入学資格を取得するか、又は専門大学入学資格(*Fachhochschulreife*)が求められます。)

それにより、ドイツの大学入学資格に関して自分が以下のどれに当てはまるかが分かります。

- 現在の学歴のままで一般大学入学資格がある(専攻分野は限定されない)。
- 大学入学資格はあるが、専攻分野が限定される。
- 自国の大学で1学年または2学年を修了したという証明書がある場合のみ、大学入学資格がある。
- ドイツの大学の入学資格がない。

大学入学資格があるかどうかを調べる

「大学入学資格」(*Hochschulzugangsberechtigung* / *higher education entrance qualification*)とは、そもそもドイツの大学で学ぶ資格があるかを問うものです。ご自分がこの条件を満たしているかどうかを調べるには、まず、DAADの大学入学資格データベース(www.daad.de/admission)が便利です。このデータベースでどの国で学校を卒業したかを選択すると、それに対応する大学入学資格の条件を調べることができます。(日本の学校を卒業された方はwww.daad.jp/ja/study-in-germany/admission-requirements/も一緒にご参照ください。)

ただし、EU加盟国またはアイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイスからの留学生は、自国で大学の大学に入学できる学歴があれば(つまり相応の証明書を提出できれば)、原則的にドイツ国内でもそれが認められます。また、外国に140校あるドイツ人学校のいずれかでAbiturを取得した場合も同様です。



ドイツ文学の世界に憧れてドイツ留学を決意した私にとって一番良かったことは、ドイツの文化を自分の肌で直接感じることができるという点です。ドイツ文学を「学ぶ」際には、専門的な知識もちろん必要ですが、ドイツという国を理解することも重要だと思います。物語に登場する豊かな自然、景色、食、人々、建物、気候、そういったドイツの文化は、日本にいただけでは、もしくは短期間の旅行だけではなかなか感じるのが難しいと思います。ゲーテをはじめとした多くの偉大な作家や詩人が愛したハイデルベルクでは、この街を舞台にした詩や小説の跡を辿る、という課外授業もあります。ドイツにいるからこそ、五感を使って学ぶことができています。この経験を生かしてドイツ語、日本の翻訳業に携わることができるよう頑張ります！

根津舞華 東京都出身。ドイツのハイデルベルグ大学の学士課程でドイツ文学を学ぶ

DAADの大学入学資格データベースで提供されているのは、大まかな内容です。このデータベースにない国々やその他の卒業資格、及び詳細についてはwww.anabin.deを参照してください(ドイツ語のみ。“Schulabschlüsse mit Hochschulzugang”で„Suchen“を選んでください。)

芸術系の学科においては、特別な才能がある場合にはこの大学入学資格がなくても入学が認められる場合があります。大学によって作品を提出したり、適性テストに合格する必要があります。

いずれにせよ入学の可否についての最終判断は出願先の大学が行います。従って、いずれの場合でも、まずは留学を希望する大学の留学生課に、自分が必要な要件を満たしているかどうか問合せをして確認してください。

大学入学資格の条件を満たさない場合

現在の学歴では大学入学資格入学の条件を満たしていない場合、ドイツで大学入学資格試験(**Feststellungsprüfung**)に合格することで大学入学資格を得られる場合があります。

このテストはドイツの大学入学準備課程(**Studienkolleg**)に入学して準備することができます。(日本の方の場合についてはwww.daad.jp/ja/study-in-germany/admission-requirements/をご参照ください。)大学入学準備課程は、総合大学や専門大学に設置されています。そこでは専攻別のコースで勉強し、大学入学資格試験では、大学でその専攻学科を勉強するために必要となる科目がテストされます。

大学入学資格試験にはドイツ語テストも含まれています。ただし、大学入学準備課程に入学するためにはCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)のB1(23ページのコラムを参照)程度のドイツ語力が必要です。そのため入学試験で必要なドイツ語力があることを証明する必要があります。

大学入学準備課程の期間は通常2学期です。非常に良い成績を収めた学生は1学期修了後に大学入学資格試験を受けることもできます。授業は週に約30時間です。

国立大学の大学入学準備課程の授業料は通常は無料です。ただし、通常の大学生と同じように大学の学期共済費(24-25ページ参照)を支払う必要があります。大学入学準備課程に入学するには出願が必要です。

更に詳しい情報はこちら

www.studienkollegs.de/home.html

大学での勉強に備える

ドイツの大学入学資格の条件を満たしていても、そこで勉強するにはまだ知識やノウハウが足りないのではないかと不安になるかもしれません。そのような場合は例えば、留学生向けの学力テストTestASや入学前の準備コースを受けるとよいかもしれません。

留学生向けの学力テストである**TestAS**は、ドイツの大学が学生に求める学力があるかを自分で知ることに役立ちます。テスト結果は、学びたい課程を選ぶ際に参考にすることもできます。テスト結果を見て、ドイツの大学での勉強についてより現実的に考えることもできます。また、TestASで好成績を収めると、志望大学への入学のチャンスが高くなる場合もあります。留学希望の大学に、TestASの結果の提出が必要かどうか、TestASの

結果を提出すると有利になるかどうかを確認されることをおすすめします。TestASは各国において年に3回、ドイツ語検定テストであるTestDaF実施機関で行われています(日本では行われていません)。TestASのテストセンターの所在地と受験料については、www.testas.de/enで確認してください。

入学前の準備コース(Propädeutika / propaedeutic courses)は、入学を希望する外国人学生のために一部の大学で設けられている1学期コースで、これからドイツの大学で学ぶために語学及び専攻分野に関して準備をするものです。多くの場合ドイツの大学の仕組みや学術的に勉強を進めるやり方についてのガイダンスも一緒に行われます。

出願条件としてのインターンシップ

主に専門大学の一部の課程では、出願条件にインターンシップの経験が含まれている場合があります。事前インターンシップが必須となっているかどうかを必ず志望大学に確認してください。

このような入学前の準備コースは基本的に、求められる大学入学資格をすでに持っているが、その専攻分野について入学前にさらに準備をしておきたい学生を対象としています。このような準備コースは、これから入学する大学の課程で順調に勉強を進めて卒業を目指すことに役立ちます。このような準備コースが設けられているかどうかは、志望大学の留学生課へお問い合わせください。以下のWebサイトでも調べることができます。

www.daad.de/international-programmes
 (“Prep Course”を検索してください)



必要なドイツ語力

ドイツの大学の大部分の課程で授業はドイツ語で行われます。したがって、大半の大学では入学する際にドイツ語の語学力を証明する必要があります。

例外:インターナショナル・ディグリー・プログラム(15ページ参照)や特別研究課程で学ぶ場合、これが当てはまらない場合もあります。

また、大学によっては、その大学で1～2学期のみ学ぶ場合にはドイツ語力の証明が求められない場合もあります。しかし全ての大学でそうであるとは限りませんので、必ず、留学希望の大学にお問い合わせください。

ドイツ語力を証明するテストとして、DSH(大学入学のためのドイツ語試験)及びTestDaF(外国語としてのドイツ語テスト)の2つを挙げることができます。

語学力の証明

www.sprachnachweis.deにはドイツ語力を証明するためのテストの概要が掲載されています。Queryという機能を使うと、留学希望の大学や専攻から必要なドイツ語力を調べることもできます。

以下のいずれかの条件を満たす場合は、これらのテストを受ける必要はありません。

- ドイツの高校でAbitur(大学入学資格試験)に合格した場合
- Goethe-Zertifikat C2:Großes Deutsches Sprachdiplom(ゲーテ・インスティテュートのドイツ語大ディプロム試験)を取得しているか、telc Deutsch C1 Hochschuleに合格している場合
- ドイツ各連邦州常設文部大臣会議のDeutsches Sprachdiplom (Stufe II)(ドイツ語ディプロム(レベルII))を取得している場合

TestDaFは、ドイツ国内及び世界のほぼ100ヶ国で受けることができます。テストは世界各国で年6回(中国では3回)行われます。テスト会場やその他の情報については**www.testdaf.de**をご覧ください。(日本では東京ドイツ文化センター及び獨協大学で受験できます。)

DSH(大学入学のためのドイツ語試験)は、主にドイツの大学及び大学入学準備課程で受験することができます。試験日程は各大学の留学生課にお問い合わせください。

TestDaF及びDSHによりドイツ語のレベルが評価されます。すべての試験項目において中級レベル、すなわちTestDaFでTDN4、DSHでDSH-2レベルの評価であれば、ほとんどの大学でも入学に必要なドイツ語レベルとして認められます。上記のレベルに達しなかった試験項目があった場合に入学許可があるかどうかは各大学の規定により異なります。

DSHとTestDaFを受けるには受験料が必要です。受験料は、試験を受ける機関と国によって異なります。

もちろんドイツ語は大学に入学するためだけに学ぶものではありません。ドイツですばらしい時間を過ごし、ドイツ人とすぐに友達になるためにもドイツ語の知識はとても重要です(64～66ページ参照)。

CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)

ドイツでは語学力レベルはCEFRの基準に従って示されます。CEFRには、基礎段階の言語使用者(A)、自立した言語使用者(B)、熟達した言語使用者(C)という3つの基本レベルがあります。

さらに、初心者(A1)からほぼネイティブスピーカーに近い言語能力(C2)までにわたる、6段階のレベルに分けられています。

1.3 留学費用の準備

ここでは、ドイツ留学中にどのような費用がかかるのか、また、どのような助成プログラムが提供されているのかをご紹介します。

留学を計画する上で重要事項の一つが留学資金です。ドイツに出発する前に留学中に必要な資金が確保されていなければなりません。

留学にかかる費用

ドイツ留学中に発生する費用には以下のようなものがあります：

- 学期共済費
- 生活費(住居、食費、被服費、書籍、電話など)
- 健康保険料
- 授業料(場合による)

学期共済費

大学で学ぶすべての学生はいわゆる学期共済費(Semesterbeitrag / semester contribution)を払わなければなりません。その費用には様々なサービスが含まれており、その金額は大学ごとに異なります。共済費の額は1ゼメスターあたり130～390ユーロ、平均額は約290ユーロです。

学期共済費の一部は福利厚生費です。これにより例えば学食、学生寮、スポーツ施設の費用の他、管理費も賄われます。

一部の連邦州では、さらに管理料が請求される場合があります、大学によりますが1ゼメスターにつきおよそ50～75ユーロかかります。

多くの大学で、学生はゼメスターチケット(Semesterticket)の料金も支払います。このチケットにより、大学周辺の公共交通機関を半年間無料で利用することができます。

学期共済費： ベルリン自由大学の例	
2019年夏学期	
学籍登録料	50.00 €
共済費	54.09 €
学生組合費	9.10 €
ゼメスターチケット	198.80 €
計	311.99 €



生活費

他のヨーロッパ諸国と比べてドイツの物価はそれほど高くありません。食費、家賃、被服費、娯楽などにかかる費用はEUの平均をやや上回る程度です。スイスやスカンジナビア諸国と比べれば比較的安価です。

学生1人がドイツで1ヶ月生活するために必要とする金額を一律で提示することは容易ではありません。どの都市に住むかによっても異なるためです。一般的に、大都市より小都市の方が生活費を抑えられます。生活に必要なお金は、どの程度節約できるかにもよります。

ドイツの学生が1ヶ月あたりに使うお金は平均で920ユーロ弱です。安価な住居に住み、節約して暮らせば、約720ユーロでも生活できるでしょう。

月々の支出で最も高い割合を占めるのは家賃です。とはいえ、家賃水準には大きな差があります。大学の所在地にもよりますが、学生の支払う家賃は1ヶ月あたり平均259～373ユーロです。

ミュンヘン、ケルン、フランクフルト・アム・マイン、ハンブルク、ベルリンといった都市の家賃は平均を大きく上回ります。家賃を節約したい場合、学生寮(Studentenwohnheim)またはフラットシェア(Wohngemeinschaft)を利用します(40～41ページ参照)。

学生はいろいろな割引を受けることができ、劇場、美術館、オペラハウス、映画館等の施設では多くの場合、学生証を提示することによって学生割引を受けられます。

何にいくらかかる？

	平均額
スーパーで：	
ジャガイモ1kg	0.75 €
米1kg	2.70 €
スパゲッティ500g	0.75 €
パン1個(およそ500g)	2.00 €
牛乳1ℓ	1.00 €
ミネラルウォーター(1ℓ)	0.60 €
冷凍ピザ1枚	2.00 €
カフェやレストランで：	
コーヒーまたは紅茶	2.80 €
コーラ(0.3ℓ)	2.30 €
ビール(0.3ℓ)	2.70 €
ワイン(0.2ℓ)	4.50 €
ピザ／パスタ料理	7.50 €
サラダ(小)	3.50 €
学食：	
ランチ	2.20 €
サラダビュッフェ(100g)	0.75 €
入場料：	
映画館	8.00 €
劇場	15.00 €
美術館	7.50 €
プール	4.00 €

健康保険

ドイツの大学で学ぶ場合、健康保険への加入が必要です。学籍登録時(52ページ参照)には健康保険加入証明書を提示しなければなりません。健康保険加入証明書はさらに滞在許可証の取得時にも必要になります(54ページ参照)。

皆さんが自国で所有する健康保険証がドイツでも有効な場合があります。これは、欧州連合加盟国、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アイスランド、リヒテンシュタイン、モロッコ、北マケドニア、モンテネグロ、ノルウェー、スイス、セルビア、チュニジア、トルコの公的健康保険に当てはまります。これらの国々とドイツは社会保障協定を締結しています。欧州健康保険カード(EHIC)により、ドイツでも保険が適用されます。

その他の国の民間の国内外向け健康保険もドイツで有効な場合があります。詳細はドイツへ出発する前に、契約している保険会社に問い合わせてください。自国の(公的または民間の)健康保険がドイツでも認められる場合、学籍登録の際に公的健康保険加入義務免除の確認書が必要です。この場合、学籍登録前にドイツの公的健康保険組合で確認書を発行してもらう必要があります。

皆さんが自国で加入している健康保険がドイツで認められない場合には、現地で保険に加入しなければなりません。公的健康保険の保険料は1ヶ月約90ユーロかかります。ただし、30歳の誕生日を過ぎた場合または14ゼメスターを超過した場合は、学生向けの優遇料金で公的健康保険に加入することができません。一部の公的健康保険では1ゼメスター間限定で割安な暫定保険料(いわゆる卒業生向け保険料)を提供していま

す。しかしその後は、公的健康保険の保険料は1ヶ月あたり約180ユーロに引き上げられます。

特にドイツでの留学開始時点ですでに30歳を超えている学生には、民間の健康保険の方が割安な場合があります。ドイツ学生互助会はこのようなケースのために保険会社と協定を結んでいます。詳細は大学の学生互助会または www.vela.insure/en („VELA Optimal“ plan)にお問い合わせください。

いずれにせよ、ドイツへ出発する前に健康保険に関する問題を解決しておいてください。というのも、学籍登録(52ページ参照)の時点ですでに健康保険加入証明書の提示が必要だからです。自国の健康保険と入学を希望する大学の留学生課に事前にお問い合わせください。

多くの学生互助会が宿舍と食事に加え、健康保険も含めた留学生向けサービスパッケージを提供しています(45～47ページ参照)。

授業料

ドイツでは大半の学生が国立大学に通っています。国立大学では最初の学士課程と多くの修士課程については原則的に授業料を徴収していません。ただし例外的にバーデン＝ヴュルテンベルク州の国立大学は、EU諸国以外の国からの留学生については授業料を徴収しています。詳細は入学を希望する大学の留学生課にお問い合わせください。

州によっては、2度目の学士や修士課程に在籍する学生または長期間在籍し続けている学生から授業料を徴収しているところもあり

ます。修士課程やオンライン課程の中には授業料を徴収するところもあり、中には1ゼメスターあたり10,000ユーロ以上になるところもあります。さらに私立大学では授業料が比較的高額になることもあります。

ドイツにおける授業料の金額は教育の質に比例しません。授業料がかからない課程でも非常に質の高い教育を受けることができます。

詳細情報 www.studis-online.de/StudInfo/Gebuehren (ドイツ語のみ)

大学生の一月あたりの支出内訳 (授業料含まず)			
	平均額	光熱費込み家賃の例	
		平均額	
家賃 (光熱費込)	323.00 €	学生寮	271.00 €
食費	168.00 €	フラットシェア	310.00 €
被服	42.00 €	アパート	389.00 €
教材	20.00 €		
車や公共交通	94.00 €		
健康保険、医療費	80.00 €		
通信 (電話、インターネットなど)	31.00 €		
余暇、文化、スポーツ	61.00 €	出典：Deutsches Studentenwerk, 21. Sozialerhebung	
計	€ 819.00		

留学資金の証明方法

大学での勉強を始める前に、自身で留学費用が賄えることを証明しなければなりません。そのためには、いわゆる**滞在費用の証明** (Finanzierungsnachweis/proof of financial resources) が必要です。多くの場合、これはビザの申請段階で提示する必要があります。遅くとも滞在許可の申請時には必要になります。(54ページ参照)。通常は年間10,332ユーロ以上を準備できることが求められます。

滞在費用の証明方法にはさまざまな方法があります。日本のドイツ大使館・総領事館のサイト(japan.diplo.de)によりますと、日本国籍の方は現在のところ以下のいずれかの方法で証明するよう求められています。

1. 奨学金等が支払われる旨が記載されている書類。ドイツ語または英語のものを用意してください。
2. 企業派遣等の場合は、雇用企業が費用負担を保証する旨を記載した証明書。ドイツ語または英語のものを用意してください。
3. 日本の金融機関の残高証明書(EUR建て)(原本・英語のもの)を受け付けている外国人局もありますが、詳細については管轄の外国人局に可否を含めて事前を確認してください。
4. ドイツの銀行に口座を作って証明書を提示する。
滞在予定の全期間につき月額861ユーロ以上を入金した閉鎖口座(Sperrkonto / blocked account)を開設したことの証明書。(例:6ヶ月の滞在であれば、861ユーロx6ヶ月=5,166ユーロ、一年であれば10,332ユーロ以上の入金が必要)

滞在費用の証明をどのように行うべきかについて、必ず自国のドイツ大使館・総領事館

で最新情報をご確認ください。

注意事項: ドイツでは留学生の就労は制限されています。アルバイトは小遣い稼ぎにはなりますが、生活費の全額をまかなうことはまず不可能です(68~70ページ参照)。

留学のための助成制度

このように、留学にはある程度のお金を準備する必要があります。ドイツへ留学する学生のためにさまざまな助成制度がありますので、利用できる制度がないかどうかを是非調べてみてください。



奨学金

日本でも数多くの団体が海外留学のための奨学金を提供しています。

日本学生支援機構の海外留学奨学金
検索サイト
ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/

DAADも大学生、大学院生、研究者向けに幅広い奨学金プログラムを提供しています。
日本向けのDAAD奨学金
www.daad.jp/scholarships
(ドイツの大学のBachelor課程で勉強するための奨学金はありません。)

ヨーロッパ出身の学生向け助成プログラム

EU諸国、アイスランド、リヒテンシュタイン、北マケドニア、ノルウェー、セルビア、トルコからの学生向けには特別な交換留学プログラムがあります。

例えば、Erasmus+ (エラスムス・プラス) は学士／修士／博士課程に在籍するヨーロッパ出身の学生の交流を促進しています。このプログラムでは3ヶ月から12ヶ月までの期間の留学を支援します。この交流プログラムは二大学間の協定に基づいて実施されます。つまり、エラスムス・プラスのプログラムに参加してドイツに留学する場合、学生は自国の大学と提携するドイツの大学に招かれます。その際、エラスムスプログラムの学生は一般的に受け入れ国での授業料を免除されます。

在学中はもちろん、卒業後も含めて、2ヶ月から12ヶ月までの期間のインターシップも助成されます。

学生は大学在学中に複数回の助成を受けることもできます。ただし、その期間の合計は最大36ヶ月です。さらに、学生は所定の条件のもとで、修士課程について低金利のローンを申請することもできます。

エラスムス・プラス、申請手続き、申請期限に関する情報収集と問い合わせは、所属する大学の国際交流センターおよびヨーロッパ各国のDAAD事務所で行うことができます。
(エラスムス・プラスは日本の学生も利用できます。詳しくは駐日欧州連合代表部のウェブサイト(eeas.europa.eu/delegations/japan_ja)内の「欧州留学(エラスムス・プラス)」をご参照ください。)

詳細情報

eu.daad.de/de/
ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus

奨学金データベース

DAADの奨学金データベースを利用すると、インターネットでさまざまな奨学金を簡単に検索することができます。このサイトではDAADに限らず、他の助成機関の奨学金についても情報を得ることができます。www.funding-guide.deで検索してください。

1.4 大学の課程への出願



ここではドイツの大学への出願方法と注意事項についてお伝えします。

ドイツの大学への出願にはさまざまな方法があり、専攻によって出願方法が異なることもあります。

専攻によって以下の2種類の出願方法に分けられます。

- **中央入学定員制限** (ドイツ全体での Numerus clausus=定員制限)がある専攻学科。現在のところ医学、獣医学、歯学、薬学はドイツ全体を通じて大学の定員数より志願者数が多い専攻学科です。
- **学制限がない、または、大学によっては入学定員制限がある専攻学科** (地域入学定員制限。つまり、一部の大学にのみ入学定員制限がある)。

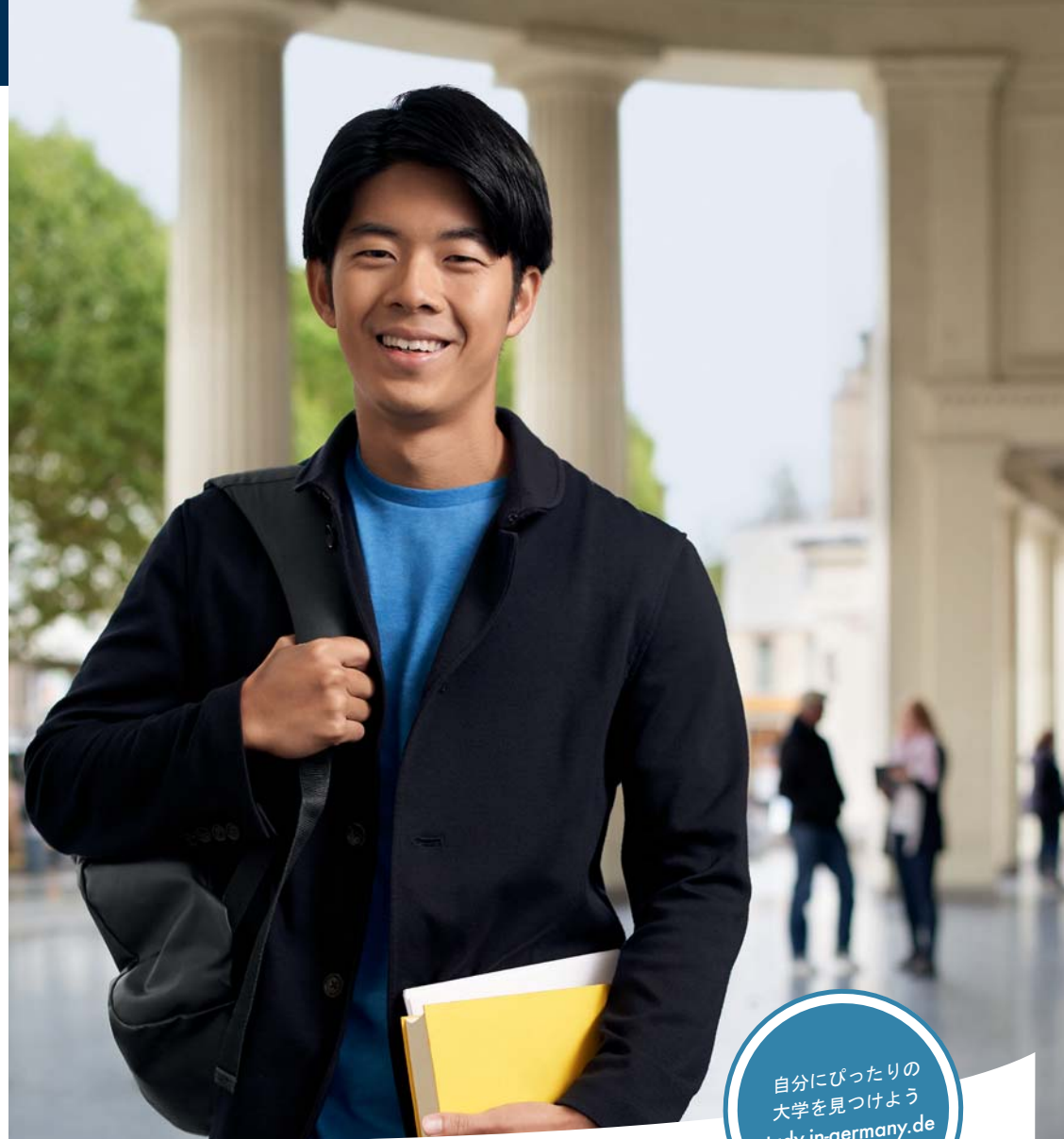
以下の情報は国立大学についてのみ大まかに述べたものです。学びたい課程の出願方法は必ず、その大学の留学生課で確認してください。

Numerus clausus (ラテン語で「定員制限」)

ある大学あるいはドイツ全体の大学で所定の専攻学科の定員が決められており、その定員より志願者数が多いことを示しています。このような場合には特別な選抜プロセスがあり、入学には特別な条件が適用されます。

中央入学定員制限 (NC) のある専攻学科への出願方法

ドイツ全体で定員より志願者数が多い専攻学科については、いわゆる中央入学定員制限 (zentraler Numerus clausus (NC)) が適用されます。このような専攻学科で学びたい場合、出願には特別条件が適用されます。



自分にぴったりの
大学を見つけよう
study-in-germany.de

過去と未来が会う国 僕はドイツ留学中

酒井大地さんは東京からアーヘン工科大学に留学中です。後ろに映るエリーゼの泉は、アーヘンの歴史を象徴する場所の一つ。酒井さんもよく訪れるお気に入りの場所です。

study-in-germany.de/student-stories

Studieren in
Deutschland
●●●●●●●●●●
Land der Ideen

出願先は以下の条件に応じて異なります。

- 出身国、及び、
- ドイツの大学入学資格(19～20ページ参照)の有無

ドイツ全体での定員制限または地域限定の定員制限のある専攻学科では、下記の条件にあてはまる出願者は**Stiftung für Hochschulzulassung / Foundation for University Admission**(大学入学財団)を通じて出願します。

- EU加盟国、アイルランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーからの出願者
- ドイツ国内の学校または外国のドイツ人学校で大学入学資格を取得した出願者

詳細情報

www.hochschulstart.de(ドイツ語のみ)

上記の条件にあてはまらない出願者は、希望の大学に直接出願するか、またはuni-assistを通じて出願します。自分がどの方法で出願すべきかは、必ず、留学希望の大学のWebサイトで確認してください。

それ以外の専攻学科への出願方法

中央入学定員制限のない学科の場合、外国人出願者は出願書類を以下のいずれかの方法で提出します。必ず留学希望の大学のWebサイトで、自分はどの方法で出願すべきかを確認してください。

- 希望する大学の留学生課または学生課に直接申請する。または、
- uni-assist経由で申請する。大学が出願書類の受付をuni-assistに委託していることがあります。留学希望の学科がuni-assist経由での出願方法をとっている場合は、uni-assistを通じて出願します。そうで

ない場合は大学に直接出願します。必ず、留学希望の大学のWebサイトで出願方法を確認してください。

uni-assist加盟大学は180校以上にのぼります。そのリストは**www.uni-assist.de/tools/uni-assist-hochschulen**に掲載されています。

uni-assistとは?

„uni-assist“は、外国人出願者の出願書類を有料で予備審査する機関です。uni-assistはuni-assistに加盟している大学に代わって、出願者から提出された各証明書類に基づいて、出願者が基本的にドイツの大学で学ぶ資格を有しているかを審査します。これに加えて、多くの大学は例えば語学力などその他の基準を満たしているかどうかの審査もuni-assistに委託しています。

uni-assistを通して同時に複数の大学に出願することができ、この場合、各証明書類や語学力証明書の送付は一度で済みます。uni-assist は書類を迅速に確認し、重要書類が不足している場合には出願者に連絡してくれます。すべての書類が整い、予備審査が終了すると、uni-assistは出願書類を電子データとして各大学に転送します。大学によっては、まずuni-assistからいわゆる予備審査書類(VPD:Vorprüfungsdokumentation)という証明書を発行してもらい、このVPDを添えてその大学に直接出願する方法をとっている場合もあります。

uni-assistでの審査には時間がかかります。大学の出願締切より8週間以上前にuni-assistに必要書類が到着し、審査料金が支払われているようにしてください。

重要: 可否の決定を行うのは常に (uni-assistではなく) 大学です。

詳細情報

www.uni-assist.de/en

確認事項: 念のために必ず、希望する学科の出願書類提出先とその方法について留学希望の大学の留学生課に確認してください。

ドイツの大学への出願には様々な書類と証明書が必要です。さらに多くの場合には出願手数料がかかります。出願の際には次のような費用が発生する可能性があります。

- 認証コピーと認証翻訳の費用
- TestDaFまたはDSHの検定料
- 出願手数料(下記参照)

出願手数料の金額は出願先によって異なります。

uni-assistを通じて出願するよう指示されている場合:

出願書類の予備審査を含む成績証明書の評価は1校目の大学については75ユーロ、同じゼメスターに出願する2校目以降の大学については1校につき30ユーロです。この手数料を大学側が負担する大学もあります。これに関する最新のリストは**www.uni-assist.de/kostenuebernahme.html**に掲載されています。

大学に直接出願するよう指示されている場合:

出願書類の審査のために出願手数料を請求する大学もあります。

出願書類の手続きは、手数料が支払われた後に開始されることにご注意ください。

Stiftung für Hochschulzulassung(高等教育入学財団)に直接出願するよう指示されている場合:

出願手数料はかかりません。

出願方法

出願用紙は大学、uni-assist、DAADのインターネットサイト、Stiftung für Hochschulzulassung (Foundation for University Admission)で入手することができます。(必ず留学希望大学のサイトでご確認ください。)

それ以外にも出願に際し、多くの場合、以下の書類も要求されます。

- ドイツの大学入学資格を持つことを証明する証明書の認証コピー
- 成績証明書や卒業証明書など大学において取得したすべての証明書の認証コピー
- 証明写真
- パスポートのコピー(氏名と写真が掲載されたページ)
- 語学力証明書(22～23ページ参照)

注意事項: 証明書をどの言語で提出すべきかを留学希望の大学のサイトでご確認ください。英語またはフランス語で発行された証明書を受け付ける大学もありますが、ドイツ語への認証翻訳付き認証コピーのみを受け付ける大学もあります。元になった日本語の証明書の認証コピーも一緒に提出するよう求められる場合もあります。認証翻訳や認証コピーについてはドイツ大使館・総領事館のサイト **https://japan.diplo.de**をご参照ください。

出願は書類が完全にそろい、手数料を支払った後に初めて手続きが開始されます。



出願期限は通常、ゼメスター開始の数ヶ月前です。したがってできるだけ早く留学生課に問い合わせ、書類が不足している場合にはそれを提出期限までに入手しておく必要があります。

大学入学許可事務局は出願結果を書面で通知します。合格の場合には、合格通知が送付され、そこには次のような内容が書かれています。

- 入学する課程の情報
- 入学意思宣誓書(入学する場合には大学事務局に速やかに返送する必要があります)
- 学籍登録(入学手続)期間(52ページ参照)
- さらに提出が必要な証明書や試験に関するお知らせ(必要な場合)
- これから受験する必要があるドイツ語検定試験またはStudienkolleg(大学入学準備課程)の入学試験の日程(必要な場合)
- 外国人留学生向けオリエンテーションイベントへの招待が含まれていることもあります。(55ページ参照)

ダウンロード用チェックリスト

www.uni-assist.de/en/tools/checklists

で出願手続きに関するチェックリストをダウンロードすることができます。

注意すべき日程

希望する課程への正確な出願期間を、大学の留学生課で確認してください。出願書類は遅くとも出願期限までには大学事務局に到着していなければなりません。それより遅れた場合には手続きは行われません。(ヨーロッパ以外の国の出願者は、ヨーロッパの出願者より出願期限が早いことがありますのでご注意ください。)

注意事項:uni-assistを通じて出願するよう指示されている場合、少なくとも出願期限の8週間前までにuni-assistに出願書類が届くようにしてください。

冬学期入学の場合

- 出願期間:5月末～7月15日
- 合格通知の送付:8月～9月
- 不合格通知の送付:9月～10月

夏学期入学の場合

- 出願期間:12月初め～1月15日
- 合格通知の送付:2月～3月
- 不合格通知の送付:3月～4月

注意:一部の大学では上記と日程が異なる場合があります。また、冬学期からのみ入学が可能な場合や、出願期限が上記より早い場合もあります。必ず留学希望の大学のサイトで確認してください。

1.5 入国と滞在に関する規則

ここでは、ドイツ入国の際にビザが必要かどうかを解説します。
また、滞在許可が必要かどうかについても説明します。

留学生としてビザが必要かどうかは、出身国やドイツでの滞在期間によって異なります。

❗ 入国の際にビザが必要？それとも必要ではない？

▶ EU加盟国またはアイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイスの国籍を持つ方。

ドイツ入国には有効な身分証明書またはそれと同等の書類が必要です。ドイツに到着後に住居が決まったら管轄の住民登録局に届け出を行わなければなりません。そこで滞在権証明書を入手することができます(54ページ参照)。

▶ 前述以外の国籍を持つ方。

ビザが必要かどうかはドイツでの滞在期間によって決まります。

原則としてドイツ滞在にはビザが必要であり、ドイツ入国前に管轄のドイツ在外公館で申請しなければなりません。ただし、一部の国の国籍を有する人に対しては、滞在期間とその目的によって例外措置が設けられています。

オーストラリア、イスラエル、日本、カナダ、ニュージーランド、韓国、アメリカ合衆国の国籍を有する人は、計画している滞在期間に関わらず、ビザなしでドイツに入国することができます。しかしドイツ入国後3ヶ月以内にドイツで滞在許可証を取得する必要があります。アンドラ、ブラジル、エルサルバドル、ホンジュラス、モナコ、サンマリノの国籍を有する人は、ドイツで就労を行う予定がない限り、90日以上滞在であってもビザなしで入国することができます。

ドイツ国内での滞在期間が90日以下で、就労する意思がない場合、以下の国の国籍を有する人もビザなしで入国することができます: アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、バハマ、バルバドス、ブルネイ・ダルサラーム、チリ、コスタリカ、ドミニカ、グレナダ、グアテマラ、キリバス、コロンビア、マレーシア、マーシャル諸島、モーリシャス、メキシコ、ミクロネシア、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、ソロモン諸島、サモア、セーシェル、シンガポール、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、セントビンセント及びグレナディーン諸島、東ティモール、トンガ、トリニダード・トバゴ、ツバル、ウルグアイ、バヌアツ、バチカン市国、ベネズエラ、アラブ首長国連邦。

アルバニア、ボスニア、ジョージア、ヘルツェゴビナ、マケドニア、モルドバ、モンテネグロ、ウクライナの国籍を持つ人で、生体認証パスポートを所有している場合にも、前述の規則が適用されます。

以上の情報は2019年2月現在のものです。最新のビザ申請国別リストはwww.auswaertiges-amt.de/de/einreiseundaufenthalt/staatenlistervisumpflicht/207820に掲載されています。

DAADのWebサイトwww.daad.de/infosheet-incomingでは、入国と滞在に関する法的条件の詳細をダウンロードすることができます。

ドイツ外務省のWebサイトwww.diplo.de/visaにはビザに関する重要な質問への回答、特にすべての国に対する最新のビザ規定に関する情報が掲載されています。

詳細は自国のドイツ大使館または領事館に問い合わせてください。ビザの申請に関するあらゆる問題についてサポートしてくれます。日本のドイツ大使館・総領事館のWebサイト: japan.diplo.de

正しいビザ(日本国籍の方は日本のドイツ大使館・総領事館のWebサイトjapan.diplo.deを確認してください。)

どの種類のビザを申請するかは、特に、すでにドイツの大学への入学許可を得ているか否かによって決まります。

重要情報: 絶対に観光客としてドイツに入国してはいけません(いわゆる「シェンゲン・ビザ」)。観光ビザを後から学生ビザまたは大学出願ビザに変更することはできません。

大学出願ビザ(日本国籍の方は日本のドイツ大使館・総領事館のWebサイトjapan.diplo.deを確認してください。)

大学またはStudienkolleg(大学入学準備課程)からの入学許可をまだ得ていない場合には、大学出願目的のビザを申請します。

このビザは3ヶ月間有効で、これにより入学するための条件を満たすことができます。この期間では足りない場合、滞在期間を最長で6ヶ月延長することが可能です。この期間内に大学または大学入学準備課程(Studienkolleg)に入学を許可されれば、勉学のための滞在許可証を申請することができます。

学生ビザ(日本国籍の方は日本のドイツ大使館・総領事館のWebサイトjapan.diplo.deを確認してください。)

大学または大学入学準備課程(Studienkolleg)からの入学許可をすでに得ている場合には学生ビザが必要です。学生ビザは通常3ヶ月間有効です。この期間内に居住地の外国人局で滞在許可証を申請しなければなりません。

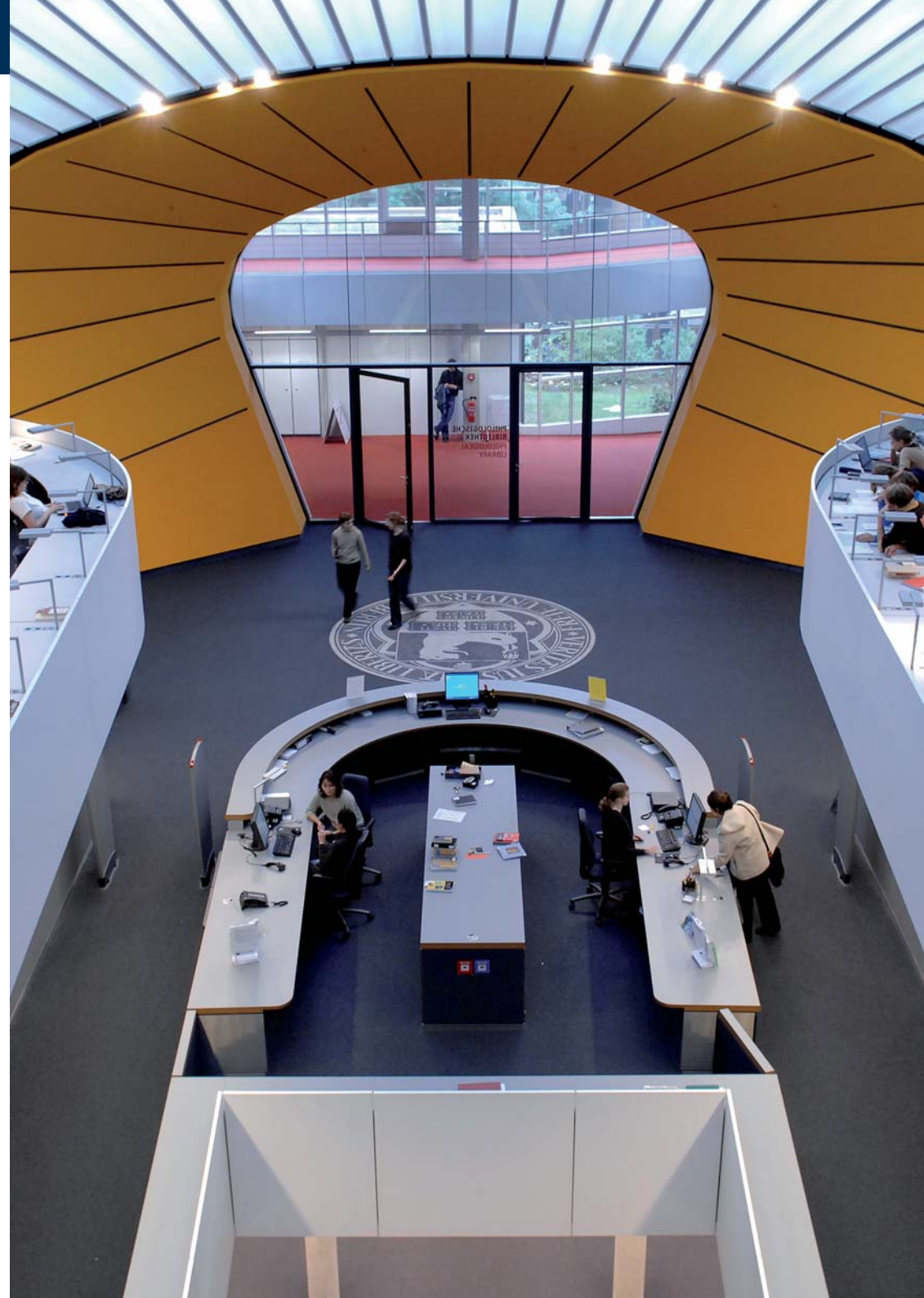
ビザの申請に必要な書類

ビザ申請に必要な書類についてはドイツ在外公館に問い合わせてください(日本国籍の方は日本のドイツ大使館・総領事館のWebサイトjapan.diplo.deを確認してください)。通常、次の書類が必要となります:

- 健康保険加入証明書(26ページ参照)
- 滞在費用の証明(28ページ参照)
- これまでの学業に関する証明書
- (もし取得している場合には)ドイツ語力の証明書またはドイツで受講予定の語学コースの証明書
- 学生ビザの場合はさらに大学の合格通知書
- 大学出願ビザの場合はさらにドイツで認められた大学入学資格

健康診断

ビザを申請する際に健康診断書の提示が必要な場合があります。これに関する情報は自国のドイツ在外公館で入手してください。(日本国籍の方は日本のドイツ大使館・総領事館のjapan.diplo.deを確認してください。)



1.6 住居探しの準備



ここでは自国でできるドイツでの住居探しの準備について紹介します。

ドイツでは学生は学生寮または民間の住居で暮らします。他の国々とは異なり、ドイツの大学では学籍登録(52ページ参照)すると自動的に住む部屋が割り当てられる仕組みにはなっていません。

通常、住居は自分で探さなければなりません。大学所在地とご自分の経済状況によっては住居探しが容易でない場合があります。そのため、できるだけ早く、理想としてはドイツ到着前に住居探しを開始してください。

住居探しに役立つ情報は留学生課で入手することができます。

学生寮に住む

多くの大学都市にはいくつかの学生寮が存在します。学生寮の部屋に住むことがおそらく最も安上がりでしょう(27ページ参照)。

しかし、すべての大学都市で簡単に学生寮の部屋に住めるわけではありません。それでも住居探しを始めるのが早ければ早いほど、学生寮に入れるチャンスは高まります。入学許可を受け取ったらすぐに部屋の確保に努めてください。学生寮の部屋を得るためには現地の学生互助会に申し込む必要があります。

住居探しの際に非常に役立つのが**DAADの学生寮検索データベース**(www.daad.de/accommodation)です。ここにはドイツの145の大学都市にある学生寮に関する情報が掲載されています。さらに、オンライン申込サイトで何度かクリックするだけで、学生互助会に学生寮の部屋の申込みを行うことができます。

大学によっては留学生課が学生寮の部屋を仲介していることがあります。留学生課にも、学生寮に入るための方法を問い合わせてください。

民間の住居

世界中どこでもそうであるように、民間で提供される住居にはさまざまな種類があります。家具なしの部屋から家具付き住居に至るまで、民間市場にはありとあらゆる物件が提供されています。

民間のアパートを借りたり、例えば、Wohngemeinschaft(フラットシェア)で一部屋を借りたりすることもできます。

Wohngemeinschaft (WG)とはWGでは複数の人が1軒の住居で共同生活をします。居住者は各自自分の部屋を持ちますが、キッチンとバスルーム、そして時にはリビングも共用で、電話やインターネットの料金も分担する場合があります。この居住形態は多くの学生に非常に人気があります。

部屋や小さなアパートは現地に来てからようやく確保できるという場合がほとんどです。つまり、住居の決定はドイツ到着後になりますが、出国前にインターネットで検索し、事前に見学の期日を決めておくことはできます。その方法と住宅広告の入手先については、51ページを参照してください。

ドイツ到着後の宿泊場所

ドイツ到着時にどこに泊まるか決まっていなかった場合には、出国前に当面の宿泊先を手配しておいてください。これにはいくつかの選択肢があり、留学生課でも情報を入手することができます。

一部の大学所在地では、学生互助会や大学共同体が当面の滞在用に安価な宿泊先を提供しています。その他、民間のペンション(小規模ホテル)、ホステル、ユースホテル、ユースホステルなどに宿泊する方法があります。ユースホステルでの宿泊には、International Youth Hostel Federationの会員になる必要がありますが、どのユースホステルでも安い料金で加入できます。

詳細情報

www.daad.de/accommodation

www.jugendherberge.de/en/

www.hostelbookers.com

1.7 チェックリスト



その時々状況、及び、大学や課程によって大きく異なる可能性がありますので、必ず留学希望の大学及びドイツ大使館・総領事館の最新情報で期限や必要書類等を常に確認しながら計画してください。

チェックリスト

▶ 18か月前

選肢を探し、決める：何をしたいのか？何が可能なのか？

以下のことを明らかにしておく：

- ドイツの大学に留学するための情報をどのように探したらよいかを知っており、すでに以下のうちの少なくとも一つを利用している。
 - www.study-in-germany.de及びwww.daad.de
 - 自国のDAAD事務所
 - 自分の大学に勤務しているドイツ語教員
 - 自国で開催される留学フェア
- 留学期間はどれくらいの長さになるのか。
- どの学位を取得したいのか。
- 大学で何を専攻したいのか。
- 自分に適しているのは総合大学か、専門大学か、芸術系の大学か。
- 自分が望む専攻がある大学はどこか。

▶ 15か月前

大学入学条件を確認する：自分はすでに希望の課程で学ぶための条件を満たしているのか？それともまだすべきことがあるのか？

以下のことを明らかにしておく：

- これまでの学校の卒業証明書・成績証明書や、これまでに修了した職業教育は、ドイツの大学の入学条件を満たしているか
- 自分のドイツ語、もしくは英語能力は、希望の大学で学ぶために十分であるか。
- 留学滞在中の費用をどのように準備するのか、奨学金の可能性がある場合はそれにどうやって応募するのか。

▶ 12か月前

出願準備を進める：何を、いつまでに準備すべきか？

以下のことを明らかにしておく：

- どこに出願するのか。
- 出願の際に、どのような書類が必要なのか、それらをどこで入手するのか。
- いつまでに出願書類を提出しなければならないのか。

▶ 6か月前

渡航の計画をする：目的地までどうやって行くのか？

以下のことを明らかにしておく：

- ドイツまでどうやって行くのか、いつまでに航空券などの予約をすべきなのか。
- ビザが必要なのか、ビザが必要な場合、ビザをどうやって入手するのか。

▶ 3か月前

住まいを探す：どこに住むのか？

以下のことを明らかにしておく：

- どういうところに住みたいのか。
 - 学生寮
 - フラットシェア (WG)
 - 自分用のアパート
- 住まいを探す方法、もしくは、学生寮を申し込む場合は学生寮の申込方法 (40ページ参照)。
- 部屋が見つからなかった場合、到着後住まいが見つかるまでどこに泊まるのか。

▶ 1か月前

出発へのカウントダウン：全ての準備が整っているのか？荷造りは済んでいるのか？

以下のことを済ませておく：

- 航空券などの予約
- 住まいの手配と、到着直後の滞在先の確保
- 荷造りリスト作成

▶ 最後の確認

以下の書類、証明書が手荷物に入っていることを確認：

- ドイツ滞在期間中の最終日まで有効なパスポート (パスポートの残存期間に注意！日本のドイツ大使館・総領事館 japan.diplo.de の「ビザ」参照)
- ビザが必要な場合は：ビザ (36～38ページ参照)
- 大学の合格通知 (Zulassungsbescheid/Notification of admission)、もしくは出願確認証 (Bewerbungsbestätigung/confirmation that the application is being processed)
- 滞在費用の証明 (28ページ及び日本のドイツ大使館・総領事館 japan.diplo.de の「ビザ」参照)
- 以下の書類の原本の認証コピーおよびその認証翻訳の認証コピー：(認証コピー及び認証翻訳については日本のドイツ大使館・総領事館 japan.diplo.de の「各種申請手続きについて」参照)
 - 出生証明書
 - 中等教育の修了証明書
 - (必要である場合) 大学卒業証書、語学能力証明書
- ドイツでも有効な健康保険に加入している場合、それに加入していることの証明 (26ページ参照)
- (必要である場合) 予防接種証明書 (Impfpass) (必要な予防接種に関する情報は、ドイツの在外公館で得られます)

必要な書類についてはその時々状況に合わせて必ずご自身で確認してください。

▶ ドイツに着いたら：

- 大学の留学生課に行き、必要な手続きなどについて説明を受ける。

2. ドイツ到着直後にすべきこと

この章では、ドイツ到着後の最初の数日間、数週間のうちに済ませなければいけないことについて説明しています。また、サポートしてくれる機関もご紹介します。

ドイツに到着したら、まずすべきことがいくつかあります。

まずすべきこと

- まだ完了していない場合は:住まい探し
- 大学の入学手続き
- 住民登録局 (Einwohnermeldeamt) での登録手続き
- 必要な場合:滞在許可 (Aufenthaltserlaubnis) の申請(日本国籍の方は必要です)
- 大学の授業の時間割の作成

これらのことについて、あらゆるところで手助けしてもらえます。到着したばかりで疑問や問題を抱えているのは皆同じです。

関連情報:

Webサイト (www.study-in-germany.de/blog) では、外国人留学生がドイツでの留学体験記を書いています。パンフレット“Ziel Deutschland”/“Destination Germany”でも、ドイツでの生活、勉強についての情報が幅広く掲載されています。

上記およびその他のパンフレットは、DAAD東京事務所から郵送することもできます(送料有料)。申込方法は daad.jp のトップページ>DAADについて>ダウンロードとパンフレットをご覧ください。また、www.daad.de/en/study-and-research-in-germany/plan-your-studies/help-and-advice/publications/ からダウンロードすることもできます。

2.1 相談窓口

ここでは、皆さんがドイツにいる間、誰が、どのような質問に対して対応してくれるのか説明しています。大学において重要な相談窓口について短くまとめられています。

最初に相談するところ:

留学生課 (Akademisches Auslandsamt / International Office)

外国人留学生にとって最も重要な連絡窓口となるのが、大学の留学生課 (AAA: Akademisches Auslandsamt)、もしくは国際シヨナルオフィス (International Office) です。大学には、留学生のサポートを提供する事務所が設けられています。

ドイツ留学の計画をした際に、留学先の大学の留学生課にすでに問い合わせをしたことでしょう。留学生課は、ドイツ到着後に生じる質問に関しても対応してくれます。

留学生課ではドイツ到着後の最初の数日を過ごすために必要なあらゆる情報を提供してもらえます。例えば学籍登録(52ページ参照)などの手続きを済ませるためのサポートを得られます。住まい探しの際に役立つ情報ももらえます。各大学の留学生課の連絡先は www.daad.de/io で確認できます。

学生互助会 (Studentenwerke)

ドイツの大学では、学生互助会が学生に対する一連のサービスを提供しています。例えば学生寮の部屋や学生食堂の管理もしています。

中には、外国人留学生に対して特別なサービスパック (Servicepaket) を提供している学生互助会もあります。このようなサービスパックはドイツの大学での勉強と生活をスムーズに始めるのに役立ちます。

サービスパックに含まれる内容は大学によって異なります。多くの場合、以下のようなサービスが含まれています:

- 寮の部屋 (40ページ参照)
- 食事
- 学期共済費 (一部ゼメスターチケット(学期定期券)代も含まれていることもあります) (24~25ページ参照)
- 健康保険の紹介 (26ページ参照)
- 文化イベントや遠足



これらに加えて、スポーツや語学のコースを提供する学生互助会もあります。また、自転車やコンピューター、食器類やベッドシートなどを貸し出している場合もあります。

サービスパックの値段は、内容によって異なります。月額158～358ユーロの料金で一学期間、もしくは最長でも二学期間にわたり利用することができます。すべての学生互助会がこのサービスパックを提供しているわけではありません。また、各学生互助会が提供するサービスパック数には限りがあります。興味がある場合はできるだけ早く、留学先の大学の学生互助会に問い合わせてください。

学生互助会は、障害のある学生による問い合わせにも対応しています。

詳細情報

www.internationale-studierende.de/en/home/

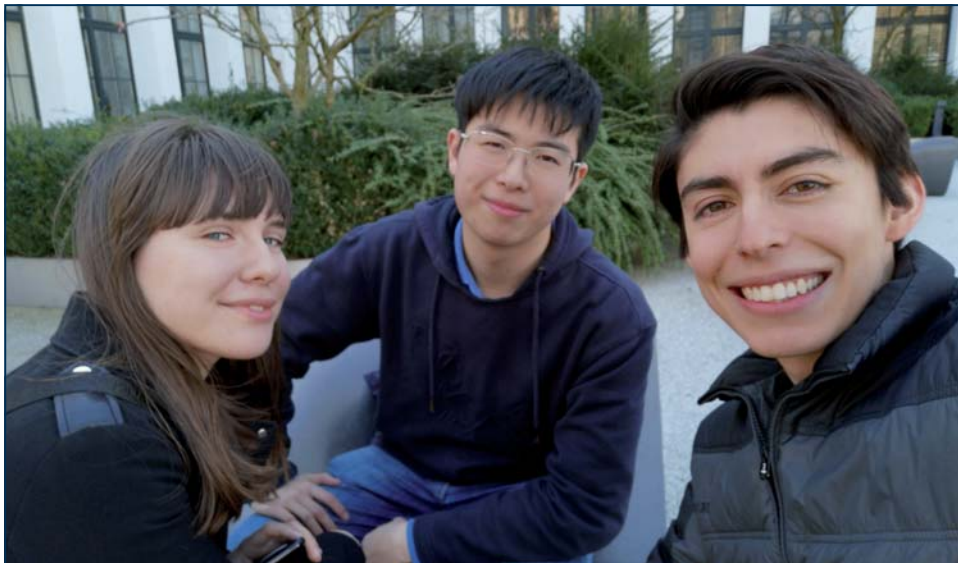
サポートプログラム

多くの大学では、ドイツで生活を始める外国人留学生のために特別なサポートを提供しています。これには、ガイダンスイベント、歓迎会、出迎えサービス、その他のサポートプログラムが含まれています。

いくつかの大学では、外国人留学生一人一人に、担当者となる先輩学生を割り当ててサポートするバディプログラム(Patenprogramm/buddy programm)を設けています。サポートを担当する先輩学生は、例えば役所での手続きや日常生活での問題、勉強に関する質問に対応してくれます。自国からドイツに向けて出発する前から連絡を取り合う人もいます。

このようなバディプログラムは、その大学所在地の自治体が運営している場合もあります。その場合、パートナーとなるのは学生ではなく、国際交流に関心を持つ街の住民になります。そのようなサポートプログラムがあるかどうかは、大学の留学生課に問い合わせてください。

多くの学生互助会には、外国人留学生をサポートしたり、情報提供をしたり、相談相手となる学生寮チューター(Wohnheimtutor/residence hall tutor)がいます。現在、600人以上の学生がチューターとして活動しています。留学先の大学にチューターによるサポートがあるかどうかは、留学生課に問い合わせてください。



外国からの新入生の相談にのるバディとして、二人の後輩とメッセージアプリのWhatsAppでつながっています。日常生活で何か聞きたいことがあれば、僕に気軽に連絡できるので、大学や役所の窓口相談に行くより早いです。二人がドイツでうまくやっていると、快適に過ごせるよう手助けできることがうれしいし楽しいです！

フリオ・デル・リオ ミュンヘン工科大学の修士課程で環境工学を学ぶ。2018年からPASCH（未来のパートナー学校プロジェクト）のメンタープログラムに参加。

バディとしてメキシコ出身のフリオを紹介された時は驚きました。でも、すぐにだからこそ適任なのだとことに気づきました。フリオはドイツに来た当初、彼自身が僕たちと似たような経験をしているので、僕たちにどんな手助けが必要かをとてもよくわかってくれます。フリオがそばにいてくれるので僕はとても安心できます。

ユンハオ・ウー 中国出身。ミュンヘン工科大学の学士課程で電気・情報工学を学ぶ。

フリオのようなバディがいてくれるのですべてがスムーズに進みます。銀行口座の開設など、多くの面倒な手続きの際にフリオは助けてくれました。彼自身の経験から、外国で新生活をスタートするときの気持ちを理解して親身になって考えてくれます。それに、フリオやウーの故郷の話聞くのもとても面白いのです。

イリナ・ムンテアン ルーマニア出身。ミュンヘン工科大学の学士課程で情報学を学ぶ。

学生が運営する機関

学生代表委員会（Studierendenvertretung）からも手助けやアドバイスを受けることができます。これは学生による組織で、学生の投票で選ばれた学生たちで構成されています。彼らは全学生の代表者として活動しています。学生代表委員会はよくAStA（Allgemeiner Studierendenausschuss（一般学生委員会））、もしくはStuRa（Studierendenrat（学生自治会））という名前で呼ばれています。

彼らは、とりわけ、大学におけるスポーツ、文化、課外活動のプログラムの手配や管理を行っています。それだけではなく、住まいやアルバイト探しに関するアドバイスも行っています。また、学生達がガソリン代を分担して車に同乗することで他の街へ行く「相乗り便」（Mitfahrgelegenheiten）の調整も行っています。いくつかの学生代表委員会は、外国人留学生のためのドイツ語コースも提供しており、互いに母国語を教え合うタンデムパートナー（Sprachtandem）（66ページ参照）を紹介してくれる場合もあります。

留学生を支援する学生グループ

多くの大学では、上記に加えて、外国人留学生のサポートに特に力を入れている学生組織があります。

彼らは新入生をサポートし、他の学生とすぐに交流できるようにパーティー、遠足や飲み会を計画したりしています（61-63ページ参照）。

学部学生会

自分の専攻に関して具体的な質問がある場合は、学部学生会（Fachschaft / departmental committees）に相談するのが良いでしょう。これは、学部内で行われる投票によって選ばれた学生たちによる組織です。彼らはそれぞれの学部の学生の代表者として活動しています。

学部学生会は学期初めに学部新入生に対するガイダンスを開催しています。ここで履修計画の立て方を教えてもらえるだけでなく、他の学生とスムーズに交流することができます。学部学生会も、大学に来たばかりの学生にとって頼りになる存在です。

2.2 住むところを探す

ここでは、現地でどのように家探しを始めれば良いのか、その際に相談できるところを紹介します。

もしまだドイツでの住まいが決まっていないのであれば、まずは最初の数日間どこに泊まるのかを考えなくてはなりません。最初の宿泊先の見つけ方については41ページをご覧ください。

住まい探しのために必要な知識

ドイツでの住まい探しは、自国にいるうちから始めるのが最善策と言えます。特に、学生寮に住みたい場合はそれが一番確実な方法となります。(40ページ参照)

学生寮ではなく、小さなアパートや、フラットシェア(41ページ参照)内の一室など民間の住宅に住みたい場合は、ドイツに来てから本格的に住まい探しを始めなくてはなりません。そのような住まいは、現地で契約するのが一般的です。つまり、直接部屋の内見をし、家主と話し合い、双方が合意してから賃貸借契約を結びます。大学の留学生課では、住まい探しに関して役立つアドバイスを受けられます。

賃貸広告を探す

アパートなどの空室情報は住居の賃貸広告を使って探すことができます。このような賃貸広告はいたるところで見ることができます。いくつかの大学では学生互助会、学生代表委員会もしくは大学の留学生課で学生向け住居の斡旋が行われています。ここで民間の貸主の連絡先を教えてもらえます。それに加え大学内にある掲示板(Schwarzes Brett)でも賃貸広告を見つけることができます。ここに部屋を探していますというメッセージを張り出すことも可能です。

多くのアパートやフラットシェアの部屋は、インターネット上で宣伝されています。街ごとにそのためのFacebookページも存在します。ここで、部屋を探していますという広告を個人的に出すこともできます。学生向けの住まいを専門に扱っている仲介業者もあります。検索エンジンに、「Studenten-WG」(学生フラットシェア)もしくは「Studentenwohnung」(学生用住居)と入力してみてください。

助け合いホームシェア (Wohnen für Hilfe)

生活の手助けを必要とする人が学生に部屋を貸し、学生は家賃を払う代わりに家主の家事や庭仕事を手伝うという Wohnen für Hilfe という取り組みが30以上の大学都市で行われています。ひと月の仕事の時間は例えば、借りる部屋1平方メートルあたり1時間ほどです。

詳細情報

www.wohnenfuerhilfe.info

2.3 学籍登録

ここでは、ドイツの大学に学籍登録(Einschreibung/ Immatrikulation)をする際に注意すべきことを説明しています。

ドイツの大学で学ぶためには、その大学に学籍登録をする必要があります。これを„Einschreibung“または„Immatrikulation“と呼びます。学籍登録をして初めて、大学の授業に参加したり、試験を受けたり、学位を取得することが可能になります。そして、図書館やコンピュータールーム、運動場など、大学に属するすべての施設への出入りが認められます。

ドイツの大学で学籍登録するためには、大学の留学生課または大学入学財団(Stiftung für Hochschulzulassung)から受け取った合格通知(35ページ参照)が必要です。合格通知と共に、いつまでに大学に学籍登録をしなければいけないのかも知らされます。多くの場合、学籍登録の期間は短く、また、学籍登録するには自身で直接大学の学生課に行かねばならないため、十分に注意が必要です。

学籍登録する際に持参すべき書類もいくつかあります。具体的にどの書類が必要なのかは大学の留学生課で確認してください。いずれの場合も以下の書類は必要になります。

- 大学の合格通知
- ドイツで有効な健康保険に入っていることを証明するもの(健康保険については26ページ及び日本のドイツ大使館・総領事館のWebサイト(japan.diplo.de)のビザの項目も参照)

学籍登録後すぐに、書面による証明書を受け取ります。これは、数日後に郵便で手元に届く学生証(Studentenausweis)の代わりとなります。学籍登録証明書(Immatrikulationsbescheinigung)は、例えば役所の外国人局(54ページ参照)で滞在許可証の申請をする際などに必要となります。

2.4 役所での最初の手続き

ここでは、住まいを見つけ、学籍登録をしたのちに必要な役所の手続きについて説明しています。

アパートや部屋はもう見つけましたか?それでは次にいくつかの役所での手続きを済ませなければいけません。ここでも、大学の留学生課を頼りにすることができます。

住民登録局(Einwohnermeldamt)ですること

住むところが決まったら住民登録局(Einwohnermeldeamt)に届出をしなければいけません。街によってはこれがBürgeramtまたはBürgerzentrumという名称になっていることもあります。大きな街ですと、住民登録局は区役所(Bezirksamt)もしくはお住いの地区の住民局(Bürgerbüro)内にあります。それらの所在地は大学の留学生課にお尋ねください。登録には以下の証明書が必要です。

- パスポート(場合によってビザも)、もしくは身分証明書、ならびに
- 入居済みであることを家主が証明した証明書。この書式は、インターネットで„Wohnungsgeberbestätigung“と検索して入手してください。

場合によっては、学籍登録証明書やパスポートのコピーなど、さらなる書類が必要になることもあります。何が必要なのか、事前に大学の留学生課に尋ねるのが良いでしょう。

住民登録局では届け出用紙に記入し、住民票(Meldebestätigung)を受け取ります。この住民票は、必ず大切に保管してください。

注意:ドイツに住んでいて、住居を変更する場合は、一週間以内に住民登録局に連絡をしなければいけません。

滞在許可 (Aufenthaltserlaubnis) を取得するために必要なこと

滞在許可を取得するためにどのような手続きが必要となるのかは、皆さんがどこの国から来ているのかによって変わります。

▶ EU加盟国、アイルランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイスの国民の方

この場合、住民登録局において滞在権を認める証明書をもらうことができます。場合によっては、生活費が保障されていること(28ページ参照)、健康保険に入っていること(26ページ参照)を証明しなければいけません。

▶ それ以外の国の国民の方

この場合、住民登録局で住民登録を済ませたのちに、留学先の大学のある街の外国人局 (Ausländerbehörde) に行かなければなりません。外国人局の住所は、大学の留学生課に問い合わせてください。その際、どの書類が必要になるかも教えてもらえるでしょう。

外国人局にて、滞在許可証の申請をします。最初の申請の際、そしてその後延長をする際には、100ユーロ以下の手数料がかかります。以下の書類を持って自分自身で直接外国人局に行く必要があります。

日本国籍の方は日本のドイツ大使館・総領事館のサイト (japan.diplo.de) のビザの項目もご確認ください。

- 住民登録局で受け取った住民票 (Meldebestätigung) (53ページ参照)
- ドイツで有効な健康保険に入っていることの証明 (26ページ参照)
- ドイツの大学の学籍登録証明書 (52ページ参照)
- 滞在費用を証明する書類 (28ページ参照)
- パスポート (場合によってはビザも) (36～38ページ参照)
- 場合によっては健康診断書 (38ページ参照)
- 手数料を払うための現金
- 場合によっては賃貸借契約書 (Mietvertrag)
- 場合によっては (生体認証付き) パスポート写真

滞在許可は、いわゆる「電子滞在許可証 (eAT: elektronischer Aufenthaltstitel)」の形でもらうことになります。これは、パスポート写真や指紋など一定の情報が記録されているICチップ搭載のカードです。滞在許可証は4～6週間後に外国人局にて本人が直接受け取ることができるようになります。まずはじめは最短で1年間、最長で2年間有効の滞在許可を取得でき、その後は延長することも可能です。

2.5 大学での勉強を計画する

ここでは、授業の種類や、学習プラン、時間割といった、ドイツの大学で勉強を進めていく際に重要となる情報を紹介しています。

大学で学ぶということは、単に学校に通うこととは大きく異なります。ドイツではこの違いは他の多くの国よりも際立っています。高校までの生徒は、ある一定の時間割に従わなければいけません。大学生は多くの専攻学科において、より多くの自由があります。多くの場合、自分がどの講義に参加するのかは自分で決めることができます。

履修内容を自由に決められるということは、ある意味自立して自ら行動を起こすことを必要とします。しかし、すべての決定を自分一人ですべてはならないというわけではなく、相談しながら決められます。学期初めには、学部新入生へ向けたガイダンスイベントがあります。これは、**学生代表委員会**や**学部学生会** (49ページ参照) が企画するもので、大学や大学の施設、皆さんの学習課程の構成に関する説明を受けられます。

これに加えて多くの場合、大学の留学生課が外国人新入生のためのオリエンテーションを実施しています。これもまた、履修計画を立てる際の手助けとなります。たいていの場合、入学許可証とともにこういったイベントの情報も送られてきます。

授業の形態

ドイツの大学の授業形態はさまざまです。それぞれの授業形態は、学習課程や大学の種類に応じて、様々な意義を持ちます。

最も重要な授業形態は、講義、ゼミもしくは講習、チューターによる補習もしくは演習、そして復習授業とコロキウムです。

講義 (Vorlesung) では、あるテーマについて、大学教師が講義・解説します。基本的にはここでは議論は行われず、授業に参加できる人数に関して制限はありません。

ゼミ (Seminar) や講習 (Kurs) では、講師や他の学生との討論が中心となります。多くの場合、授業の参加人数には制限があります。

補習授業 (Tutorium) は、講義、もしくはゼミの授業内容を復習し、より理解を深めるためのものです。これは、上級生であるチューターによって行われます。このような授業は、講師や助教、研究員や補助員によって行われる場合もあります。その場合には、この授業を**演習 (Übung)**と呼ぶことが多いです。

課程によっては**グループでの勉強会や学習会 (Arbeitsgruppe, Lerngruppe)**もあります。ここでは学生が集まって授業テーマの復習、試験対策、もしくはプロジェクトへの取り組みを行います。

学部と研究科

大きな大学では各専門分野が例えば人文学部や医学部など、学部 (Fakultät/Fachbereich) にまとめられています。

個々の専攻はそれぞれの研究科 (Institut/Seminar) に属しています。大学にもよりますが、研究科は独立した建物であることも、本館の一つの階に設置されていることもあります。そこには担当教員のオフィスや、多くの場合その研究科の専門文献を集めた図書館があり、学術的な交流や人と人との交流をする機会が多くあります。

いくつかの専攻学科では、**復習授業 (Repetitorium)**を通して、大学教員の指導のもとで授業内容を復習し、試験に備えた適切な準備をすることができます。

コロキウム (Kolloquium)とは主に、卒業試験の少し前に行われる学生同士の討論式の授業です。

いくつかの大学ではこれらに加えて、**オンラインの学習モジュール (Online-Lehrmodul)**を使い始めています。これは、その他の授業形態を補う形で行われます。

その他に、**MOOCs (Massive Open Online Courses)**もあります。これは、オンラインで行われる授業のことで、誰でも無料で参加することができます。ドイツの大学におけるMOOCsは、<http://iversity.org/en>、www.opencourseworld.de、www.coursera.org (ドイツ語のみ) といったWebサイトで探すことができます。

課程における学習の構成

大学の課程の学習がどのように構成されているかは履修規定 (Studienordnung) に記載されています。履修規定には、その課程に含まれる学習内容、及びBachelorやMasterなどの学位取得 (12～13ページ参照) のために必要なことについて規定されています。履修規定は、留学先の学部や研究科のWebサイトで確認できます。

Bachelor課程や**Master課程**はモジュール (Modul) 制になっています。モジュールとは多くの場合、関連するテーマを持つ講義、ゼミ、演習といった複数の授業で構成される学習単位です。

ECTS単位

Bachelor課程及びMaster課程における単位は、ヨーロッパ単位互換制度 (ECTS: European Credit Transfer and Accumulation System) に即して計算されています。ECTSでは、課程を修了するのに必要な勉強量が決められています。そこには授業の予習や復習、成績証明書を取得するための努力、試験勉強なども含まれます。提出された課題は評価されて卒業成績に含められます。

ECTSの1単位は25～30時間の学習時間に相当します。大学の課程は通常、1学期に30単位を取得すれば規定在学期間 (履修規定に定められた、その課程を修了するために必要な最低学期数) 内に修了できるよう設計されています。

ECTSにより国境を越えた大学間の単位認定がより容易なものになっています。ECTSの単位が皆さんの出身国の大学で認められない場合は、担当の教授や講師に、授業に参加したことや試験の成績を証明してもらって下さい。(ドイツの大学で取得したECTS単位が日本でご自身が通う大学でどう扱われるかについては、留学前によくご相談されることをお勧めします。)

Bachelor課程を修了するには履修規定に応じて180から240単位が必要です。Master課程の場合は60から120単位となります。

どのような試験形態があるのか?

単位は、授業に定期的に出席することで得られます。しかし、授業の最後に修了試験が行われることも多くあります。この試験には様々な種類があり、特に以下のような形で行われることが多いです。

- 筆記試験 (Klausur)
- プレゼンテーション (Referate) (あるテーマに関する口頭の研究報告)
- レポート (Hausarbeit) (あるテーマに関する文章によるレポート)
- 口頭試験 (mündliche Prüfung)

時間割の組み立て方

各課程の履修規定には、その課程でどのような内容を勉強するのか、どのモジュールを修了しなければならないのかが定められています。しかしこれだけでは時間割は作れません。モジュール内には、様々な重点テーマを持つ授業が含まれていることが多く、その中から自分が取る授業を選ばなくてはならないからです。

時間割を作成するためには、**シラバス (Vorlesungsverzeichnis)**が必要となります。学科ごとに**解説付きシラバス (KVV: Kommentiertes Vorlesungsverzeichnis)**があり、各研究科のWebサイト上で確認できます。KVVには、その学期に行われるすべての授業が詳しく説明されています。たいいていの場合、授業の予習をするための文献もここに掲載されています。

モジュール内で自分の受けるゼミや講義を決めたら、通常はオンラインで、その授業の申し込みをします。在籍する学生数が非常に多い学科もあります。そのため、ある特定のゼミに参加したいのであれば、期間内に間に合うように申し込んでください。

時間割は完成しましたか？ 授業の申し込みは済ませましたか？それでは、ドイツの大学で学ぶための準備は万端です。



3. 留学を成功させるために

この最後の章では、人との触れ合いと友人関係、ドイツ語の学習、職業経験という3つの項目について述べています。これらは、ドイツ滞在をすばらしい経験とするための重要な鍵となり得るものです。

もちろん皆さんは、できるだけ早くドイツの生活に慣れ、快適に過ごしたいと思うでしょう。さらに、ドイツ留学中に働いてドイツの労働市場での貴重な経験を積みたいと考える方もいるでしょう。そのためのヒントもいくつかまとめました。

3.1 人とつながる

学生生活の中で人とつながるにはどうすればいいのでしょうか。

大学の成績さえ良ければドイツで快適に過ごせるというわけではありません。生活の質の大部分は個人的な人とのつながりに左右されます。

大学自体も非常に様々ですので、大学生活も実に様々です。比較的小規模で全体を見渡しやすい大学もあれば、非常に大規模で多数の教員や学生がいる大学もあります。大規模な大学ではいつも簡単に他の学生と知り合えるとは限りません。

そのためここでは、人と知り合うためのいくつかのアイデアをご紹介します。この他にもいろいろなところで人と知り合い、友達を作ることができるでしょう。

新入生オリエンテーション

新入生向けのオリエンテーションは学生自治会、学部学生会、または留学生課が行っています。このようなイベントに参加すれば、大学に入ったばかりで不安に感じているのは自分ひとりだけではないことがわかるでしょう。

シュタムティッシュ、学生グループ、スポーツクラス、パーティー

カフェ、居酒屋、レストランはドイツの社会生活において大きな役割を果たしています。そのような所は学生達が集まる場所でもあります。学部学生会や学生グループの中には、定期的に特定のカフェや居酒屋に集まるシュタムティッシュ(Stammtische)と呼ばれる会を開いているところもあります。ここで仲間の学生達と知り合いになったり、何かを一緒にやろうと誘い合ったりできます。

大学にはどこでも、共通の興味や趣味を持つ学生のグループがあります。多種多様な学生クラブ、政治グループ、大学合唱団、オーケストラ、演劇グループ、その他多くのグループがあります。そういったグループは、人と知り合うのに理想的な場所です。大学にどのようなグループがあるかについては、学生自治会やまたは学生相談窓口で調べることができます。



私たちAEGEEは、留学生がドレスデンに到着した時点から安心して楽しく過ごせるようサポートしています。私たちのバディ・プログラムでは、初めてドレスデンの大学にきた留学生一人一人のニーズに合わせたサポートをしています。毎学期、いろいろなアイデアを盛り込んだ遠足やイベントを企画して、ヨーロッパ各地からやってきた新入生がいろいろな人と簡単に知り合えるよう機会を設けています。特に人気があるのは、ザクセン・スイスでのハイキングと夜のカラオケイベントです。一緒に集まって楽しむことですぐに大きな友達の輪の中の一員と感ずることが出来ます。

ゾーイ・レ・ギュー ドレスデン工科大学で政治学とコミュニケーション学を学ぶ。AEGEEドレスデンでは渉外担当として活躍している。

ほとんどの大学の地区には、**宗教系の大学・学生コミュニティ**があります。ここでは信仰関連の話をするだけでなく、遠足、パーティー、討論会、その他さまざまな催しが行われています。住所は大学のWebサイトで見つけることができます。

また、ドイツには多くの**国際的な学生団体**もあります。そのような団体が開催するイベントは、人と出会い、情報を共有するのに理想的です。例えば次のような団体があります。

- AEGEE – Association des Etats Généraux des Etudiants de l'Europe / European Students' Forum:
あらゆる専攻で学ぶヨーロッパの学生のための学生協会 (www.aegee.org)
- AIESEC: 経済学及び経営学を学ぶ学生のための世界最大の学生協会
(www.aiesec.de)
- ELSA – European Law Students' Association: ヨーロッパで弁護士を目指す学生のための学生協会
(www.elsa-germany.org)

どの大学でも、あらゆる分野の**スポーツクラス**が提供されています。クラスの大半は無料です。ここでも他の学生と知り合う機会がたくさんあります。最新のスポーツプログラムは、大学のWebサイトで見つけることができます。

学期ごとに開催される大学の**パーティー**もまた、人々と出会える良い機会です。

ソーシャルメディア

例えばドイツの大学や学部学生会のFacebookのサイトを通じて、まずバーチャルにコンタクトを取り合うこともできます。www.facebook.com/Study.in.Germanyを通じて、ドイツで勉強中の学生や留学を計画している学生など世界中の約570,000人の人々とつながることができます。

勇気を持って最初の一步を！

誰かが自分にコンタクトしてくれることを待っていてはいけません。自分から行動しましょう。他の学生に話しかけてみましょう。得られるあらゆる機会を活用してください。

3.2 ドイツ語を学ぶ

ここではドイツの大学での勉強及び日常生活をスムーズに行うにはどの程度のドイツ語が必要なのかについてご紹介します。そしてドイツ語をどこでどのように上達させることができるかをお伝えします。

ドイツの大学で上手く学ぶためにどの程度のドイツ語力が必要かは、当然のことながらどの課程で学ぶかにより異なります。

必要なドイツ語力

英語で授業が行われる課程では、通常はドイツ語力ではなく、高度な英語力が求められます。

ドイツ語で授業が行われる課程の場合、通常、社会学系の専攻では自然科学系の専攻より高いドイツ語力(特に書く力と話す力)が求められます。

いずれにせよ、講義やゼミでの討論について行くのに十分な言語レベルが必要です。学術的な文章を理解し、学術的なテーマについて十分に論じ、また文章で考察できることが必要です。

大学に出願する際にはドイツ語力の証明が必要です(22~23ページ参照)。しかしもちろん、ドイツ語を習得すべき理由はそれだけではありません。語学試験に合格した後、または求められたレベルのテスト結果を得られた後も、ドイツ語を学ぶ努力は終わりません。

なぜなら語学力は大学で学ぶ以外にも必要だからです。ドイツ語力は、大学以外の生活にも重要です。ドイツ語力があれば日常生活において行動しやすくなり、ドイツの社会により深く関わることができ、また、ネットワークも格段に広げやすくなります。

オンライン・ドイツ語コースDUO

DUOのオンライン・ドイツ語コースは、ドイツの大学に留学する人のためにさまざまなレベルのコースが用意されています。

詳細情報

www.deutsch-uni.com



私の場合、ドイツ語の上達に一番役立ったのは他の学生との議論や、パーティーでの会話でした。人は他の人の話を聞き、その言語を使って自分を表現することで初めて、本当に進歩を遂げるものです。またそうして友達もできるのです。

私は文化に対して好奇心旺盛であり、このことが語学の学習に大いに役立っていると思います。ドイツ語で友達に自国の文化的背景について話すとき、以前は気づかなかった関連性が突然見えてきます。

もちろんすべての専攻学科で、例えば哲学やドイツ学の場合ほどドイツ語力が重要というわけではありません。しかしドイツ語を上手に話せば、いずれにしても選択肢が増えるのです。

プラト・ツェー 香港出身。2018年にミュンヘン大学で哲学博士号取得。

ドイツ語を上達させるには？

もちろん、すでに母国で可能な限り高いレベルでドイツ語力を身につけていれば理想的です。これは世界中にあるゲーテ・インスティテュート(www.goethe.de)などで可能です。日本国内では東京、大阪、京都にあります(www.goethe.de/ins/jp/ja/index.html)。

教室で学ぶコースに加えて、ゲーテ・インスティテュートではA1からB2レベルのオンラインコースでドイツ語を学ぶことができます。ドイチュ・ヴェレ(Deutsche Welle)はwww.dw.com("Deutsch lernen")で、ドイツの市民大学連盟(Deutsche Volkshoch-

schul-Verband)はwww.iwdd.de("Ich will Deutsch lernen")で無料オンラインコースを提供しています。また、オンライン・プラットフォームwww.deutsch.infoでは独習者向けのドイツ語コースだけでなく、ドイツでの生活に関して便利な情報も提供しています。

そのほかに自国でさらにドイツ語を学んでおく方法として、Skypeまたは電子メールによる語学学習タンドムがあります(66ページ参照)。

ドイツで語学力をさらに向上させたい場合も、さまざまな方法があります。

ドイツの大学は語学コースを提供しています。多くの場合は有料ですが、そうではないこともあります。学期中に開講されるコースに加えて、ドイツ語を学ぶためのサマーコースもあります。通常、6月から9月の間に行われ、さまざまなレベルのドイツ語学習者に対応したコースが用意されています。

詳細情報

www.summerschools.de

他にも多くの機関や語学学校が有料のドイツ語コースを提供しています。ドイツのゲーテ・インスティテュート(www.goethe.de)や市民大学(www.volkshochschule.de)が例に挙げられますが、他にも多数あり、そのほとんどが私立の語学学校です。

このようなコースとその実施機関を探すには外国語としてのドイツ語専門連盟(FaDaF)のデータベース(www.fadaf.de/de/daf_angebote/sprachkurseangebote) (ドイツ語のみ)を利用するとよいでしょう。

ドイツ語は、定番の(通常は有料の)語学コースでなくても、例えば、お互いに母国語を教え合う語学タンデムという形で学ぶこともできます。語学タンデムでは、それぞれお互いの母国語を学びたいと思う2人が組んで学びます。定期的に会って交代で互いの言語と一緒に練習します。留学生課、国際学生組織、または学生自治会には、語学タンデムを希望する学生のリストが用意されていることがあります。また、大学の数多くある掲示板のいずれかにタンデムパートナー募集と掲示することもできます。

適切なタンデムパートナーを見つけるためのポータルサイトを設けている大学もあります。このようなポータルサイトに関する情報は、留学生課または学生自治会が提供しています。

タンデムパートナーはまた、大学または学部学生会のFacebookページなどで検索することもできます。

自己評価テスト: 自分のドイツ語レベルを知る

ドイツの語学コースは、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)に従ってレベル分けされています(23ページの囲み枠の記載を参照)。

自己評価テストで自分のドイツ語力を試してみることができます。ゲーテ・インスティテュートのWebサイトでは無料で短いテストを受けることができます(www.goethe.de/einstufungstest)。

レベルをより正確に把握し、またそれを証明書で示したい場合は、有料のオンライン語学レベルチェックテストonSETが用意されています(www.onset.de)。ここでは、自分のドイツ語力がTestDaF受験に十分かどうかテストできます。



3.3 職業経験を積む



ここではアルバイトとインターンシップを通じてドイツの労働市場を知る方法、そしてその際に注意すべき点についてご紹介します。

留学中にドイツの労働市場で経験を積みたいと考えるかもしれません。それなら、アルバイトとインターンシップはとっておきのチャンスです。さらにこれはネットワークを広げるためにも良い方法です。

そして結果的にアルバイトでお金を稼ぐこともできます。しかしその際は注意が必要です。大学で勉強しながら働いても、それだけで完全に生計を立てることは事実上不可能です。ドイツで必ずしもアルバイトが見つかるとは限りません。加えて学生は限られた範囲でのみ働くことが認められています。

大学生の典型的なアルバイト

大学生にとって理想的なアルバイトは、大学の各研究科、図書館、またはその他の大学機関での仕事です。そこで学生助手または学術補助員として、あるいは研究員として働くことができます。そのような募集広告は大学または学部学生会のWebサイトで見つけることができます。

大学以外の場所での大学生のアルバイトとして定番なのは、カフェや居酒屋でのウェーターやウェイトレスです。その他にも見本市での訪問者の接客、配達員や自転車の宅

配便、コピーショップでの仕事、ベビーシッターや家事手伝いなどをする学生もいます。

アルバイトを探すなら、大学、図書館、スーパーマーケットなどの掲示板を注意して見てください。多くの大学では学生向けのアルバイトの紹介もしています。学生互助会や現地の雇用エージェンシー（公共職業安定所に相当）にもアルバイト情報があります。

また、インターネットにも求人情報サイトがあり、学生向けに特化しているところもあります。そこで“Studentenjob”+地名で検索して探すことができます。またFacebookでも、地域グループでよく求人情報が掲載されており、自分でアルバイトを探していることを投稿することもできます。

詳細情報

www.daad.de/job

労働可能な時間

大学生がどの程度まで働くことが許可されるのかについては、厳格な法的規定があり、出身国により規制は異なります。

▶ EUまたはアイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイスいずれかの国の国籍を持つ方（グループ1）

特別な許可を取得しなくても好きなだけ働くことができますが、ドイツの学生と同様、講義期間中は週に20時間を超えて就労してはならないことになっています。この範囲であれば通常は、学生も雇用主も健康保険、介護保険、失業保険について追加の保険料が発生しません。

▶ 上記の国以外の国の国籍を持つ方（グループ2）

1年間で働けるのは120日（終日の場合）、240日（半日の場合）までです。それ以上働きたい場合は、雇用エージェンシー及び外国人局の許可が必要です。この許可を得られるかどうかは、留学先の労働市場の状況によって異なります。失業率の高い地域では許可を得るのが非常に難しいでしょう。

学生助手または学術補助員として働く場合は、120日間の制限を超えても通常は問題ありません。それでも外国人局に連絡する必要があります。

注意：留学生に対する労働法の規定は非常に厳しいものです。違反すると国外退去となる場合があります。不明点などは必ず雇用エージェンシー及び外国人局に相談することをお勧めいたします。

一般的に自営業やフリーランスの仕事に従事することは、許可されていません。

語学コースに参加する、または大学入学準備課程で勉強する場合、通常は滞在の最初の1年間は働くことは一切許可されていません（学校が休みの期間を除く）。不明点などは必ず雇用エージェンシー及び外国人局に相談することをお勧めいたします。

インターンシップを行う場合は、それが無給であっても通常の仕事とみなされます。インターンシップで働いた日数はすべて、120日間の最大許容労働日数から差し引かれます。働いた日数がすでに120日間に達している場合は、インターンシップのために外国人局及び雇用エージェンシーからの承認が必要です。



ゲッティンゲン大学在学中の職業経験は今でもとても役に立っています。私はマスター課程の2年目にゲッティンゲン文学センターで実習生として働きました。大学で学びながらこのパートタイムの仕事をこなすには自己規律が不可欠でした。でもこの文献管理の仕事から私は予想以上に大きなものを得ることができました。この貴重な経験がなければ、現在の仕事に就くことはなかったと思います。

実習生として働いた際に知り合った人たちは今でもとても大事な人たちであり、それは仕事上のことだけではなくです。そこでかけがえのない友人を得ることもできました。

アニー・ラザフォード スコットランド出身。ゲッティンゲン大学で一般文学および比較文学の修士号取得。現在はスコットランドの国際詩祭StAnzaのプログラムのコーディネーター。

この規則には例外があり、履修規定に定められているインターンシップ(いわゆる必修インターンシップ)には適用されません。必修インターンシップについての承認は不要であり、また120日間の最大許容日数にもカウントされません。

詳細情報

www.daad.de/infosheet-incoming

パンフレット「外国人学生、外国人卒業生、外国人研究者の就労における法的基本条件に関する情報」

留学先の雇用エージェンシーの住所はwww.arbeitsagentur.de/enでご確認ください。

インターンシップで得られるもの

多くの学生が大学で勉強しながら職業経験を積むためにインターンシップを活用しています。インターンシップを通じて仕事の日常を体験することは、多くの学生にとって自分がどのような仕事をしたいかを考えるのに役立ちます。このような職業経験を通じて、自身の専攻分野における取り組み内容の重点をより深めることができます。また、インターンシップを通じて学外のネットワークを広げることができます。

インターンシップは多くの課程において必修となっています。その場合、大学教員のサポートを受けられます。課程の中には、インターンシップを修了していることが入学条件に含まれている場合もあります(21ページの囲み枠の記載を参照)。

インターンシップは企業や機関で行うことができます。インターンシップの期間は数週間から数ヶ月になることがあります。

ドイツ留学中にインターンシップを行うことを希望する場合は、次の場所で情報を入手できます。

- 大学のインターンシップ課
- Akademischen Auslandsamt(留学生課)
- AIESEC(www.aiesec.de)やELSA(www.elsa-germany.org)、またIAESTE(www.iaeste.de)などの国際学生組織

詳細情報

www.daad.de/internship

インターンシップの賃金

2019年1月より、ドイツではすべての就労者について、最低賃金は時給9.19ユーロ(税込)と定められました。学生のアルバイトであっても、法律によりそれ以下の賃金で働くことはできません。

しかしインターンシップの場合、必ずしもこの最低賃金は適用されません。必修インターンシップ(70ページ参照)の場合、最低賃金を支払う義務はありません。また、ボランティアのインターンシップの場合、インターンシップが3か月以上継続される場合に限り、学生は最低賃金を受け取れます。それ以外の場合、インターンシップには賃金がまったく支払われないか、または、支払われても低額であることが多いです。

3.4 大学卒業後の就職の可能性

ここではドイツの大学を卒業した後もドイツで暮らし、仕事をするためにどのようなチャンスがあるか、またその際に関係する法的な基本条件についてご紹介します。

ドイツでの生活がとても気に入り、卒業後もここに滞在したいと思うかもしれません。また、大学で取得した知識と資格を生かしてドイツで働きたいと考えるかもしれません。

このように考える人は珍しくなく、留学生の約44%は学位を取得した後、当面の間ドイツに留まります。

関係する法的な基本条件

ドイツの大学を卒業した場合は、特別な規則が適用されます。ドイツの大学の卒業生であって、特定の条件を満たしていれば、ドイツで就労目的の滞在許可を取得するのはそれほど困難ではありません。

ドイツで学位を取得した後、就職活動のためにまず最長18か月の滞在許可を申請することができます。そのためには生計が保証されており、自分の学位に見合った仕事を真剣に探していることを証明する必要があります。この就職活動中はパートタイムで時間制限なく働くことができます。

EUブルーカード

EUブルーカードは、EU加盟国以外の国籍を持つ人を対象としています。高度な資格を持つ方はこのカードにより、ドイツで暮らし、働く許可を得ることができます。

ドイツの大学（もしくは認定されたまたは同等と認められる外国の大学）の学位を有し、年収が53,600ユーロ（税込）以上の雇用契約を結んでいるかまたはその年収の就職先が法的な拘束力を持って約束されている人は、ブルーカードを申請できます。特定の職業（自然科学者、数学者、エンジニア、医師、IT専門家）においては、最低年収41,808ユーロ（税込）でも申請できます。

詳細情報
www.bluecard-eu.de



ドイツの大学で勉強したことは私のキャリアを築く上で最高の足掛かりとなりました。慣れ親しんだ環境を離れてまったく新しい環境と文化の中でのスタートとなりましたが、だからこそ成長できたのだと思います。

大学では、国際色豊かなチームの中で実践的なプロジェクトに取り組みました。このMBAプログラムのおかげで国際労働市場での課題についてよく準備することができました。そのため、実際の職場でもスムーズに働き始めることができました。在学中からすでに複数の有名企業から、やりがいのある高収入の仕事のオファーを受けました。最終的にアリアンツ

社でアルバイト学生として働き始め、現在もそこに勤めています。

私の経験では、本気で取り組んでいることを示すことによりドイツでキャリアを成功させるチャンスは高いと思います。ドイツ留学は、私の人生において最良の決断のひとつでした。

サウド・ビン・ナウマン パキスタン出身。コーブルク大学でMBAプログラム「財務管理」を修了。現在はミュンヘンのアリアンツ社で財務の専門家として勤務。

この期間内に就職先が見つかった場合、引き続きドイツに滞在することができます。そしてそれまでの滞在許可を就労目的の滞在許可に書き換えることができます。

ただしこのための前提条件は、将来の仕事と、修了した学科との間に関連性があることです。さらに、その仕事に対して資格過剰であってはなりません。例えば、医学を専攻した卒業生がプログラマーとして働くことは専門的に不適切となりますし、美術史専攻の卒業生が美術館のカフェでウェ이터やウェイトレスとして働くことは資格過剰とみなされます。

資格に適した就労から2年が経過すると、一定の条件の下で永住許可つまり無期限の滞在権を申請できるようになります。すべての要件（特にドイツ語力）を満たすと、8年後に帰化を申請できるようになります。ほぼすべての連邦州においてこの8年にはドイツの大学での在籍期間がカウントされます。



就職のチャンスを高めるには

外国籍の卒業生に関する法的な基本条件は簡素化されていますが、ドイツの大学を卒業した後に適切な就職先を見つけるのは必ずしも容易ではありません。それでも就職活動中の卒業生にとって朗報であるのは、ドイツで有能な人材が不足しているということです。

ドイツ経済研究所によると、数学、情報学、自然科学、技術といったいわゆるMINT(STEM)分野での仕事において、大学を卒業した専門的な人材が著しく不足しています。さらに医師も不足しています。つまり分野によっては大学卒業者は就職のチャンスが高いということです。

就職活動の際には、ドイツ経済について次の点を知っておくことが重要です。ドイツでは、中小企業(従業員数が500人未満の企業)が非常に大きな役割を果たしており、中小企業は経済においても求人においても力強い原動力となっています。

2016年にはドイツ企業の99.5%が中小企業でした。約350万社の中小企業がドイツの全雇用のほぼ60%を占めています。就職活動においては国際的に事業を展開する大企業だけでなく、中小企業もターゲットに入れることにより、就職のチャンスを大幅に高められます。

外国人専門職向けのポータル

www.make-it-in-germany.comでは、ドイツに暮らし、仕事をしたいと望む外国人専門職の人に情報及びアドバイスを提供しています。就職活動に関する広範な情報だけでなく、求人情報も掲載されています。

求められるドイツ語力

ドイツ語が上手であれば、ドイツで就職先を見つけるチャンスは格段に高まります。しかし例えば英語で授業が行われるマスター課程で学んだ方は、ドイツの大学で学ぶ際にそれほどドイツ語を必要としなかったかもしれません。

ところがドイツの労働市場においては通常、高度なドイツ語力を有することが前提となっています。例外は研究機関や国際的な大企業くらいでしょう。そのような職場では非常に高い英語スキルがあればドイツ語力の不足を補うことができるでしょう。

大学で学んでいるときも卒業後も、あらゆる機会を利用してドイツ語を勉強しドイツ語力を向上させましょう(64～66ページ参照)。

頑張ってください!

ドイツで学ぶことはやりがいのある挑戦であるだけでなく、キャリア形成に向けた重要なステップでもあります。

ドイツの大学を卒業した外国人学生は2016年だけでも49,112人にのぼりました。ドイツの大学の卒業証書は、国際的なキャリアをスタートさせるための最高の資格となります。

大学で勉強する間にさまざまな経験をした多くの人にとって、ドイツは自分の故郷のひとつとなっているでしょう。そしてその大部分は生涯を通じてドイツと近い関係を保つでしょう。皆さんもそうかもしれません。そうなれば私たちはとても嬉しく思います。

みなさんのご成功を心から願っています!

その他の出版物

留学生向けの詳細情報を含むDAAD出版物(PDF版)

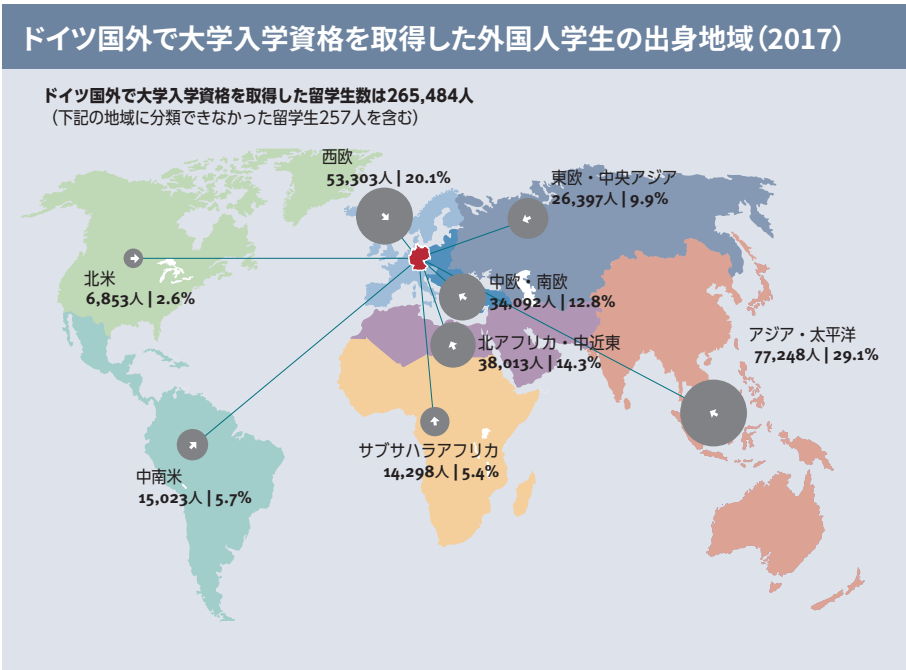
www.daad.de/en/study-and-research-in-germany/plan-your-studies/help-and-advice/publications/

DAAD東京事務所からお送りできるパンフレット

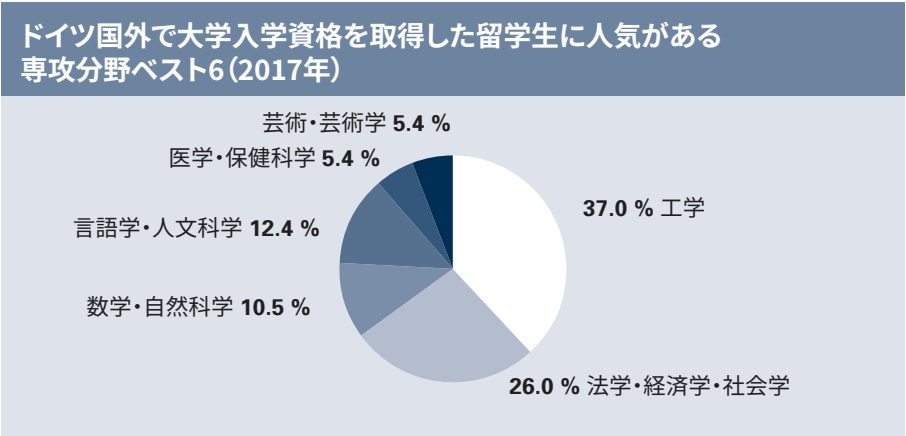
www.daad.jp/ja/about-us/download-publications/

統計：ドイツの大学で学ぶ外国人学生

ドイツの大学に在籍している学生の内訳 (2017年)	
ドイツ人学生	2,448,115人
外国人学生	358,895人
ドイツ国内で大学入学資格を取得した外国人学生 *	93,411人
ドイツ国外で大学入学資格を取得した外国人学生 *	265,484人
ドイツの大学に在籍している学生の総数	2,807,010人



ドイツ国外で大学入学資格を取得した外国人学生の出身国トップ15 (2017年)			
	人数		人数
中国	34,997人	ウクライナ	7,000人
インド	15,308人	トルコ	6,953人
ロシア	11,295人	ブルガリア	6,823人
オーストリア	10,575人	スペイン	6,220人
イタリア	8,550人	アメリカ合衆国	5,839人
カメルーン	7,425人	韓国	5,575人
フランス	7,335人	ポーランド	5,339人
イラン	7,123人		



* 外国人学生はBildungsinländerとBildungsausländerとに分かれる。ドイツ国内もしくは在外ドイツ人学校で大学入学資格を取得した者をBildungsinländerと呼び、ドイツ以外の国の学校で大学入学資格を取得した者をBildungsausländerと呼ぶ。

senschaft weltoffen 2018”。その他の引用元は、ドイツ連邦統計局の高等教育統計およびドイツ学生互助会の社会調査。

数値の引用元は、DAADから出版された“Wis-

DAADについて：目標、任務、プログラム

“DAADは「交流で世界が変わる」という標語をかけた、これを組織目標としています。1925年の設立以来、DAADの助成により多くの若者が世界中で国際経験を積むことができるようになりました。しかし、奨学金の支給はDAADの活動の一部にすぎません。DAADはドイツの大学の国際化を促進し、ドイツ語やドイツ学を外国に広め、発展途上国における高等教育の整備を支援しています。DAADは、文化、学術交流、教育、開発援助分野の対外政策において重要な役割を果たしているのです。

DAADは、多くの協力者に支えられている活力のある共同体です。世界中から集まる奨学生、母国に経験を持ち帰り活動の輪を広げてくれる元留学生、奨学生選考にあたって専門分野の審査員を務めてくれる研究者、DAADの活動に助言を与えてくれる学生組織がその例としてあげられます。またDAAD職員のグローバルネットワークもDAADの活動には欠かせません。DAADの職員には、奨学生あるいはドイツ語教員として国際的経験を有する人が少なくありません。

ドイツ学術交流会は現在、世界最大の助成機関であり、ドイツの教育と研究の国際化を推進しています。それによりドイツはいつでもオープンで寛容になり、グローバル化時代における国際的競争力も高まるのです。2017年現在、DAADには241のドイツの大学と104の学生組織が加盟しています。

DAADの予算

DAADは、主として外務省、加えてドイツ連邦教育研究省、ドイツ連邦経済協力開発省など各省庁の連邦予算から拠出される公的資金で運営されています。また欧州連合も大きな資金提供元のひとつです。

その他、各種企業、財団ならびに外国政府からも資金提供を受けています。2017年のDAAD予算は5億2200万ユーロで、前年比約4%増でした。

DAADのプログラムと目標

2017年のDAAD助成受給者数は全世界で約14万人にのぼり、その半数が女性でした。DAADの助成プログラムは多様であり、若い学生の短期留学から博士号取得、インターンシップ、大学講師派遣のためのプログラム、発展途上国の参加者のための研究課程、外国での大学設立に至るまで多岐にわたります。DAADはマーケティング、出版物、各種イベント、研修などによりドイツの大学の国際化を支援しています。

DAADでは以下の3つの方法を通じて目標の達成を目指します：

1. 優秀な人材に対する奨学金の支給

厳しい選考基準を満たし、特に優秀でありかつ責任感を持つことが認められたドイツ人ならびに外国人大学生、研究者に奨学金を支給する。

2. 国際化のための構造づくり

国境を越えた教育、モビリティ、対話を可能にし、それにより教育・研究レベルの向上につながる大学教育の構造をドイツ国内外で作り出す（インターナショナル・ディグリー・プログラム、二国間の共同出資による大学設立、専門分野のネットワーク構築など）。

3. 学術協力に関する情報提供

国際協力を成功に導くために必要な世界各国の教育文化及び研究システムに関する情報をDAADの活動とネットワークを通じて収集し、体系化して発展させ、広く提供する。

アドレスとリンク集

ボン本部
German Academic Exchange Service
Kennedyallee 50
53175 Bonn (Germany)
Postfach 200404, 53134 Bonn (Germany)
Tel. +49 (228) 882-0
Fax +49 (228) 882-444
postmaster@daad.de
www.daad.de

ベルリン事務所
German Academic Exchange Service
Wissenschaftsforum am Gendarmenmarkt
Markgrafenstraße 37
10117 Berlin (Germany)
Tel. +49 (30) 20 22 08-0
Fax +49 (30) 204 12 67

東京事務所
107-0052
東京都港区赤坂 7-5-56
Tel: 03-3582-5962
Fax: 03-3582-5554
daad-tokyo@daad.jp.com
www.daad.jp
twitter.com/daadtokyo
instagram.com/daad.japan/
www.facebook.com/DAADTokyo/
daad.jp/ja/newsletter/

世界各国のDAAD
DAAD在外事務所とインフォメーションセンターのリストを
www.daad.de/netzwerkで御覧いただけます。

ドイツの大学で学ぶことについての全般情報

www.study-in-germany.de
www.daad.de/deutschland
www.daad.jp/ja/study-in-germany/

大学の課程について一般情報

www.study-in-germany.de
www.higher-education-compass.de
www.studienwahl.de
www.universityranking.de
www.daad.de/international-programmes

博士号取得について

www.research-in-germany.de/phd
www.phdgermany.de
www.gerit.org (German Research Institutions)
www.dfg.de/gk (research training groups)
www.mpg.de/de/imprs (Inter. Max Planck Res. Schools)
www.daad.de/international-programmes

オンライン学習とMOOC(大規模公開オンライン講座)

www.higher-education-compass.de ("distance learning")
www.daad.de/international-programmes ("study online")
http://iversity.org
www.opencourseworld.de
www.coursera.org

入学許可

www.daad.de/requirements
www.anabin.de
www.studienkollegs.de
www.testas.de
www.hochschulkompass.de/studium-interessentest.html
www.studis-online.de/StudInfo/selbsttests.php
www.self-assessment.tu9.de

ドイツ語の検定試験

www.sprachnachweis.de
www.testdaf.de
www.goethe.de/einstufungstest
www.onset.de

出願

www.daad.de/applying
www.uni-assist.de
www.hochschulstart.de

ビザ(ドイツ連邦共和国大使館・総領事館)

https://japan.diplo.de/ja-ja

奨学金情報

www.funding-guide.de
ryugaku-shogakukin.jasso.go.jp/scholarship_abroad/
eeas.europa.eu/delegations/japan_ja (エラスムス・プラス)

部屋探し

www.daad.de/accommodation
www.jugendherberge.de
www.hostelbookers.com
www.daad.de/accommodationfinder
www.wohnenfuerhilfe.info

相談窓口

www.daad.de/io (留学生課)
www.internationale-studierende.de(学生互助会)
www.facebook.com/Study.in.Germany

ドイツ語を学ぶ

www.summerschools.de
www.goethe.de
www.deutsch-uni.com
www.dw.com ("Learning German")
www.iwld.de ("I want to learn German")
www.deutsch.info
www.volkshochschule.de
www.fadaf.de/de/daf_angebote/sprachkursangebote

インターンシップ

www.daad.de/internship
www.iaeste.de
www.aiesec.de
www.elsa-germany.org

大学在学中のアルバイト及び卒業後の就職

www.daad.de/job
www.arbeitsagentur.de/en
www.make-it-in-germany.com
www.bamf.de/bluecard

参考になるその他の情報

www.study-in-germany.de/blog
www.daad.de/en/study-and-research-in-germany/plan-your-studies/help-and-advice/publications/

索引

Abitur (大学入学資格試験(ドイツの高校の卒業試験)) 19

Akademisches Auslandsamt
(留学生課) 17、45

Arbeiten (働く) 68～75

Aufenthaltserlaubnis (滞在許可) 54

Bachelor (学士) 12

Bewerbung (出願) 30～35

Credit Point (単位) 57

DSH (大学入学のためのドイツ語試験) 22～23

Deutschkenntnisse
(ドイツ語力) 22～23、64～66

Diplom (ディプロム) 13

Erasmus+ (エラスムス・プラス) 28～29

Fachhochschulreife
(専門大学入学資格) 19

Fachschaft(svertretung)
(学部学生会) 49

Fakultät (学部) 56

Feststellungsprüfung
(大学入学資格試験) 20～21

Förderungsmöglichkeiten
(助成制度) 28～29

Graduiertenkolleg
(research training group)
(大学院博士課程特別コース) 14

Hochschulreife (大学入学資格) 19

Hochschulzugangsberechtigung
(大学入学資格) 19～20

International Office (留学生課) 17、45

Job (アルバイト) 68～75

Krankenversicherung (健康保険) 26

Lebenshaltungskosten (生活費) 25

Lehrveranstaltung (授業) 55～58

Magister Artium (修士) 13

Master (修士) 13

Modul (モジュール) 57～58

MOOC 56

Numerus clausus (NC) (定員制限) 30

Online-Studium (オンライン学習) 15

Praktikum (インターンシップ) 70～71

Promotion/PhD (博士号取得) 13～15

Regelstudienzeit (規定在学期間) 57

Semester (学期) 10

Semesterbeitrag (学期共済費) 24

Semesterticket (ゼメスターチケット) 25

Seminar (ゼミナール) 56

Sprachkenntnisse
(語学力) 22～23、64～66

Staatsexamen (国家試験) 13

Stiftung für Hochschulzulassung
(高等教育入学財団) 32

Stipendium (奨学金) 28～29

Studentenwohnheim
(学生寮) 40

Studiengebühren (授業料) 24、27

Studierendenvertretung
(学生代表委員会) 49

Studium-Interessententest
(学習関心テスト) 16

Studienkolleg

(大学入学準備課程) 20～21

TestAS (留学生向け学力テスト) 21

TestDaF
(外国語としてのドイツ語試験) 22～23

Tutorium (補習授業) 56

Übung (演習) 56

uni-assist 32～33

Visum (ビザ) 36～38

Vorlesung (講義) 55

Vorlesungsverzeichnis (シラバス) 57

Vorprüfungsdokumentation / VPD
(予備審査書類) 32

Wohnen (住む) 40～41、51



www.daad.jp
twitter.com/daadtokyo
[instagram.com/daad.japan/](https://www.instagram.com/daad.japan/)
www.facebook.com/DAADTokyo/

www.daad.de
www.facebook.com/Study.in.Germany